

新発売! 2サイクル
スーパースポーツ RZ250 / 50ccスペシャル RX50 *Special* / 男のリトルバイク **POCKE**

世界の話題、先進のヤマハ技術

ヤマハ省エネルギーエンジンシステム発表!



世界が注目！先進のヤマハ技術
省エネルギーエンジンシステム開発…………… 3

YICS	YEIS
キャリブマチック	YPVS

- ポッケ RX50スペシャル RZ250
'80年後半の商戦へ
話題の新商品ぞくぞく登場…………… 10

●カラー

- 新商品ご案内
「ポッケ」「RX50スペシャル」「RZ250」…………… 16
- カラーピンナップ「RZ250」…………… 18

- モータースポーツハイライト
大活躍！K・ロバーツ、光安鉄美…………… 20
- 話のバドック…………… 22

- お店訪問・こんにちはヤマハです
●香川県・高松市「サイクルショップ西本」さん…………… 24
- パワーアップヤマハ奥さま⑧…………… 26
- 販売促進12章…………… 28
- モータースポーツハイライト…………… 30
- ヤマハ★トピックス…………… 32
- ヤマハ部品・用品コーナー…………… 35

ヤマハ省エネルギーエンジンシステム、い

ま世界の注目を集める先進のヤマハ技術は、6月30日、東京パレスホテルでの記者発表会でヤマハ発動機・長谷川常務取締役の説明のもと3種そろってベールを脱いだものです。この中で最大の関心と呼んだのが昨秋に一部内容が報道された「YICS」。このシステムに対する評価の一端として『欧米の（自動車メーカー）数社が興味を示していますが、その中で数種のエンジンにYICSを適用し、将来生産する可能性を考慮しているのがフィアット社（イタリア）です。フィアット社とヤマハは最近正式ライセンス契約を締結しました』の発表も行なわれ、注目を集めました。（3ページ）



男の遊びごころを満たす「ポッケ」。「タウニイ」について男性バイク市場の拡大をめざすユニークなレジャーバイクの登場です。そして、新発売キャンペーン・キャラクターもこれまたユニーク、いまヤングの人気を集めてヒットチャート赤丸急上昇中の「シーナ&ロケット」のリーダー鮎川誠くん。「オレの放課後はFENと50ccバイクとレイチャー



ルズやったな……」と語る博多っ子ロックン・ローラー。愛妻シーナさんのボーカルがなんとも印象的。『ユー・メイ・ドリーム』がもったの大ヒットシングルです。ぜひご一聴を！

〈表紙〉 待望のスーパースポーツ「RZ250」新登場。スカイラインのワインディングロードにエキサイティングな風が吹き抜ける。

これまでのエンジン技術の開発は、高負荷時の性能向上に重点がおかれ、燃料消費量の低減は高出力化をはじめとする性能の追求とは相いれぬものと考えられがちでした。

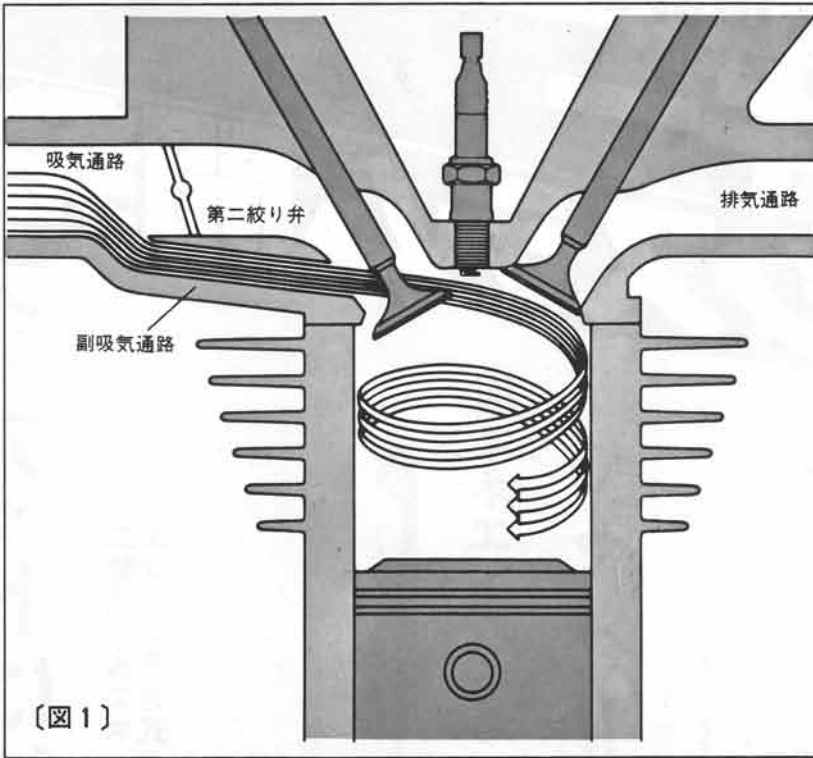
しかし、「YICS」「Y-EIS」は、こうした傾向から脱却し、低負荷時のエンジン特性の向上を主体に研究を進めて開発に成功したものです。いずれ

も混合気の吸気通路にヤマハ新開発の技術をもり込み、常用エンジン回転域（中低速域）で効果的な燃焼効率を生み出し、出力特性をアップしながらあわせて約10%の燃料節減を果しています。

また、「キャリブマチック」は、高度差の激しい環境で使用される中南米の山岳地向けに開発したものです。

低コストの省エネ・エンジンを生む

YICS(ヤマハインタクミンコンロントロールシステム)



〔図1〕

●YICSの基本原則

シリンダー内に吸入される混合気の流速を速め、しかも、ウズ巻状にして吸入させることによって、燃焼効率を高めて、燃料消費の

81年モデルの中・大型モーターサイクル3機種に採用が予定されている「YICS」。その特徴は、きわめてシンプルな機構であり、4サイクル・ガソリンエンジンならば2輪、4輪を問わず、また、エンジンの形状、気筒数、冷却方式などに関係なく部分的な設計変更だけで適用できる点にあります。

もちろん、キャブレターの改造や使用上のメンテナンス等も不要で、比較的lowコストで導入できる点が特に注目を集めています。

低減をはかるのが、「YICS」の基本原則です。

燃料を効率よく燃焼させれば、少ない燃料でも同等の出力を得ることができます。そして、燃焼時間が短かいほど、また吸入混合気のスピードが速いほど、この「燃焼効率」も向上します。

そこで、「YICS」では、シリンダーへの混合気の吸入をウズ巻状（スワール）のジェット噴流とし、燃焼効率の向上によって燃費を低減させているわけです。

●YICSのしくみと働き

吸入混合気をウズ巻状のジェット噴流とするために、吸気通路に「第2絞り弁」とそれをバイパスとして、その出口が吸気バルブ付近に位置する副吸気通路を設け、さらにエンジン負荷に連動する第2絞り弁開閉装置を備えています。

そして、中低速時には、第2絞り弁は閉じ副吸気通路からハイスピードで、方向性のある混



合気をシリンダー内に供給し、シリンダー内に渦流を発生させて急速燃焼を促進します。また高速時は、第2絞り弁を開けた状態にします。

●YICSの作動(図一)

- ①ピストンの下降によってシリンダー内が負圧となり、キャブレターで混合された混合気が吸気通路を経てシリンダーへ吸入されます。
- ②大小2つに分けられた吸気通路のうち、大口径側は第2絞り弁で遮断され、混合気は小口径の副吸気通路を通ります。
- ③副吸気通路は大口径吸気通路の1/4から1/2の口径で、混合気は従来の4倍以上の流速にスピードアップされてシリンダーに導かれます。
- ④副吸気通路の開口部は、シリンダーの接続方向に位置して設けられており、吸入混合気はシリンダー内壁に沿って急速にウズを巻きながら充填されます。そして、このウズを保ちながら圧縮、点火が行なわれるために燃焼時間が短縮され、きわめて効果的な燃焼効率を得られるのです。
- ⑤一方、高速走行時など、大量の混合気を必要とする場合には、アクセルの操作に連動して第2絞り弁が開き、吸気通路と副吸気通路の双方から混合気が吸入されて、従来のエンジンと同等の性能を発揮します。

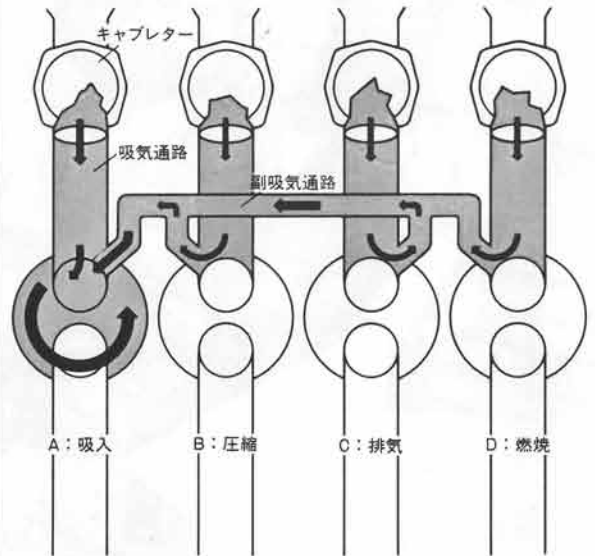
●YICSの効果

そして「YICS」を導入した実験車両でのテスト結果では、10モード走行やLA4モード(USAにおける燃費測定基準の一種)走行で同じ型式の従来の車両よりもおむね「10%」の燃料を節減できることが確認されています。

なお、この「YICS」について日本国内で約50件、海外で約40件の特許および実用新案を出願中です。

YICSの多気筒 モーターサイクル・エンジンへの適用

〔図2〕



前ページカット写真は、4サイクル・4気筒「XJ400」のエンジンに、「YICS」を装備したもので、矢印の部分副吸気通路です。

「YICS」の基本原理がシリンダーへ吸入される混合気の流速を速め、同時にウズ巻状にして充填することはご説明しました。

このため、吸気通路を2本に分け、シリンダー内との圧力差を生み出すために口径を変え、一方を閉じの状態にしておくわけですが、この圧力差を生み出す方法は、他にもいろいろ考えられます。

例えば、多気筒モーターサイクルのように各気筒ごとにキャブレターを持つものでは、特に第2絞り弁を設けることなく、各キャブレターを絞り弁として活用できるのです。

〔図2〕は、多気筒モーターサイクルエンジンに、「YICS」を採用したものを上から見た図です。

- ①各気筒ごとに吸気通路の途中から、その開口部近くに通じる細い副吸気通路を設け、これらをすべて連結します。
- ②Aのシリンダー内でピストンが吸入のため下がり始めると、Aシリンダー内の圧力が下がり、B、C、Dの吸気通路に比べ差圧が発生します。この差圧によって、B、C、Dの吸気通路から副吸気通路に混合気が吸い込まれ、速い流速でAシリンダーに流れ込みます。
- ③同様にBシリンダーが吸入をする場合、今度はA、C、Dの各吸気通路から、副吸気通路を通してBのシリンダー内に混合気が流れ込みます。
- ④副吸気通路のノズル部は、シリンダーの接続方向に向かう角度に設けられているため、もちろん混合気はシリンダー内をウズ巻状に流れます。

燃費、出力の双方に効果を発揮する

Y E I S (ヤマハエナージーインダクシヨンシステム)

2サイクル・エンジンを中心に開発した「Y E I S」は、現行のガソリンエンジンにそのまま適用でき、エンジンの基本構造を変えずに、エンジンの基本構造を変えずに、パワーアップと低燃費の双方を同時に実現した画期的なシステム。81年の2サイクルモデル4機種に採用が予定されています。

● Y E I S の 基本原則

この「Y E I S」の基本原則は、吸気管内の混合気の流れをスムーズにし、また、流速の変動を平滑化して、吸入効率を安定させ、出力の向上と、燃料消費の低減をあわせては

かるものです。

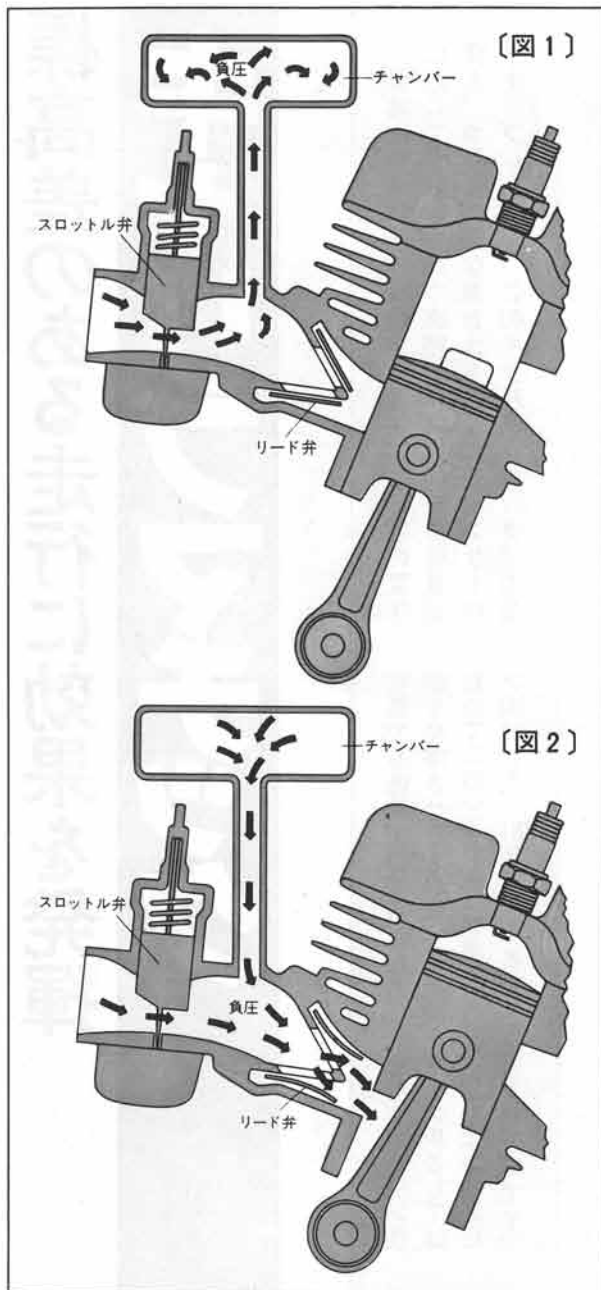
つまり、エンジンには中低速時にパワーフイーリングや燃費が低下する運転域が発生するものがあります。「トルクの谷」と呼ばれるものです。

そして、この「トルクの谷」は、クランクケース負圧と吸気脈動流がマッチングしない領域が生じるために起こるわけですが、とくに高速性能を上げるほど発生しやすくなり、この「トルクの谷」の解消は、高速性能向上

をめざすエンジンの大きな研究課題のひとつでした。

そこで、この「Y E I S」は、吸気管の一部にチャンバーを設け、吸気脈動を変え、これによって、吸気の流れをスムーズにし、また流速の変動を平滑化して「トルクの谷」を解消したものです。

これによって、中低速時の性能低下に束縛されることがなく高速性能を追求することができ、同時に燃費の向上にも成功した、画期的なものです。



●YEISのしくみと働き

写真(YZ250)のようにエンジンの吸気通路とチャンバーを連結パイプを介してつないだもので、吸入口の開閉にともなう吸気通路内の

圧力変動を利用し吸入混合気をチャンバー内に誘導して、吸気流速を平滑化させ吸入効率を高めています。

この「YEIS」の機能をどの回転域で最高度に発揮させるかは、チャンバーの容積、吸気管との連結パイプの径や長さなどの微妙な関係によって決まり、これを中低速にマッチングさせることで中低速域のパワーフィーリングが向上しつ

つ、高速性能の向上が果されるわけです。また、吸気流速の平滑化によって、キャブレターの空燃比の変動が防止され、キャブレターの理想的なセッティングを可能にして、燃費の向上を果しています。

●YEISの作動

図1と図2は、2サイクル・トルクインダクションエンジンに「YEIS」を装備した例です。

①エンジンの吸気孔が閉じた時、チャンバー内は吸気管より圧力が低く、この差圧によって吸気管内の流れを継続させつつ、混合気をチャンバー内に誘導し充填します。(図1)

②つぎに、吸気孔が開かれると吸気管内はシリンダーと通じて負圧となり、チャンバー内に充填していた混合気とキャブレターから新たに吸入された混合気が一体となってエンジン内に吸入されます。(図2)

③このように、吸気管内の混合気の流れを連続的、かつスムーズにすることにより吸入効率が向上します。

また、これによりキャブレターからの燃料吸出しが平均化され、理想的なキャブレターのセッティングが得られるのです。

●YEISの効果

「YEIS」は、オフロード・レーシングマシンおよびスタンダードマシンでの実験で出力・燃費の両方の向上においてすぐれた成果をおさめています。

特に燃料消費量の低減については、エンジンの性格づけによって異なりますが、おおむね、10%前後の向上が確認されています。

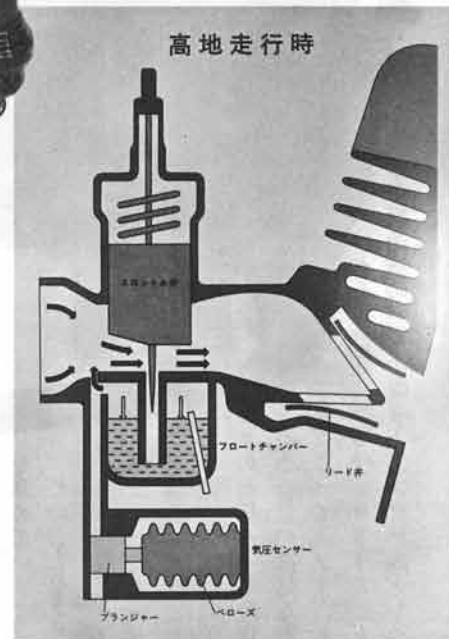
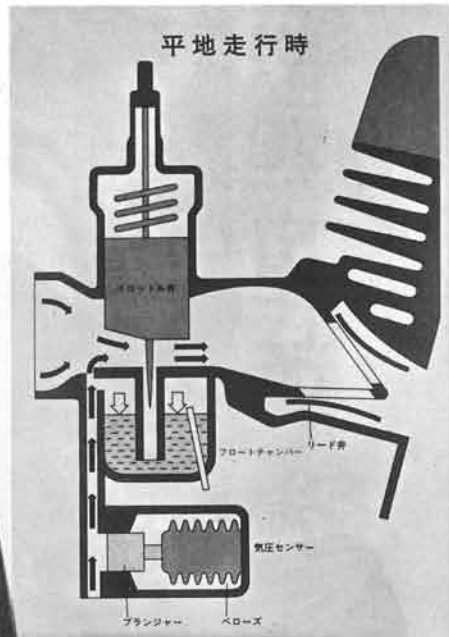
また、この「YEIS」は2サイクルエンジンの改良を中心に開発を進めています。原理的には4サイクルエンジンへの適用の可能性ももっています。なお、もったか10数件の特許および実用新案を出願中です。

標高差のある走行に効果を発揮

キャリブマチック

低地から高地へ、高地から低地へと気圧の変化に応じて自動的、かつ連続的にガソリン供給量を変え、つねに適正な混合比を保つ気圧センサー付きキャブレターが、このキャリブマチック。山岳

地帯でも低地での使用とならば遜色なくエンジン性能を発揮させるもので、モーターサイクルとしては初めてこのシステムを標準装備した輸出車(コロンビア向け)を、'81年モデルとして生産する予定です。



が濃くなって、出力の低下、回転の不安定を招くことは、日本国内でもしばしば経験することです。

そこで、こうした気圧の変化に応じて自動的かつ連続的に燃料供給量を制御し、あらゆる気圧下で理論空燃費を確保することを基本に、安定した出力特性と燃費の低減を図ったのがこの「キャリブマチック」です。

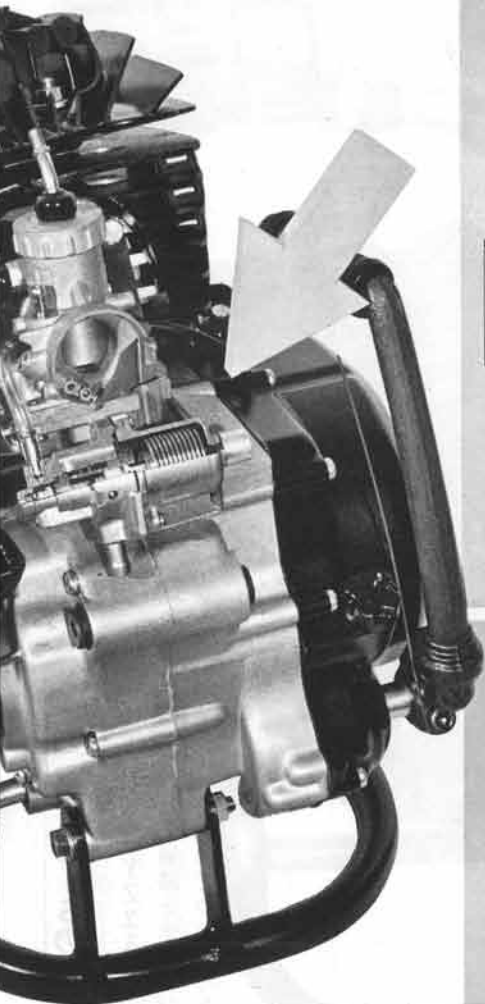
●キャリブマチックのしくみと働き

図のように、気圧の変化に応じて自動的に燃料供給量を変化させる気圧センサーをキャブレターに設けました。

その働きのポイントとなるのは、微妙な気圧の変化を敏感にキャッチするセンサーのベローズです。このベローズは、大気圧の変化に応じて伸縮します。

気圧が低下してベローズが伸張すると、これに合わせてプランジヤーが移動し、キャブレターのフロートチャンバーにつながるエア通路の面積を狭くして、フロートチャンバーの内圧を大気圧よりもさらに低下させます。これにより吸い出されるガソリン供給量を絞り、気圧低下時の希薄空気量に見合った混合気をつくり出しているのです。

この「キャリブマチック」は、もちろんメンテナンスフリー。万一ベローズが破損しても通常のキャブレターと同じように働くことはいままでもありません。



●キャリブマチックの基本原則

標高が高くなると気圧が低下し、空気も希薄となります。低地で行なったキャブレターのセッティングのまま高地を走ると、混合気



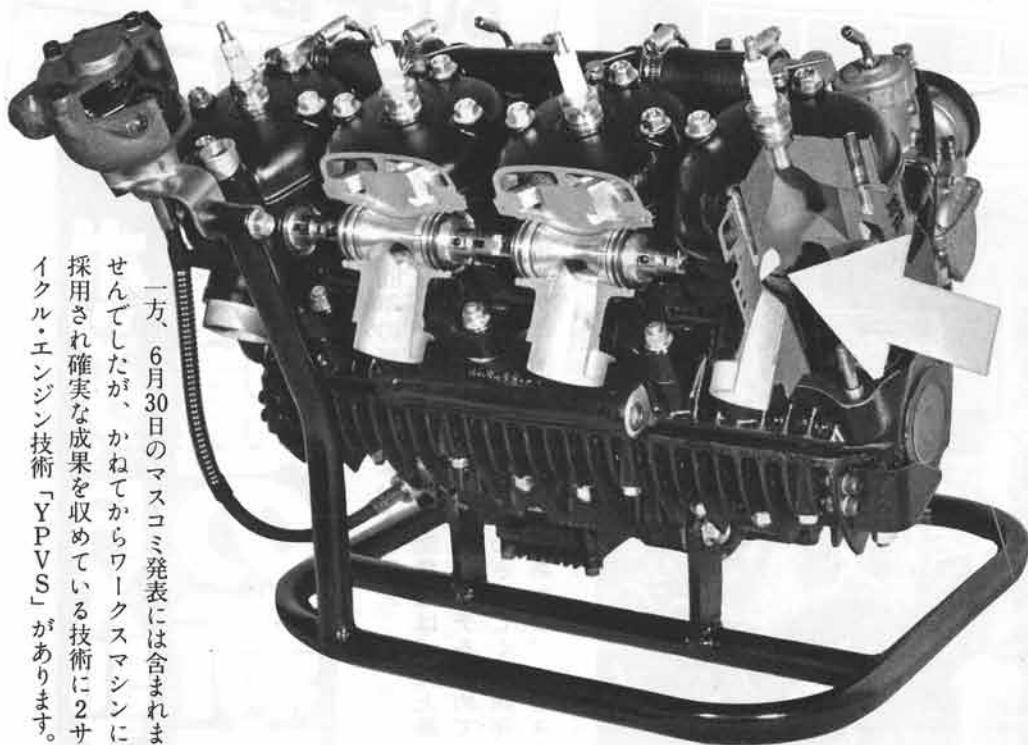
●キャブレマチックの効果

高低差2000メートルを昇降する「キャブレマチック」装備車の走行テスト結果、つねに安定した混合比が保たれることにより、

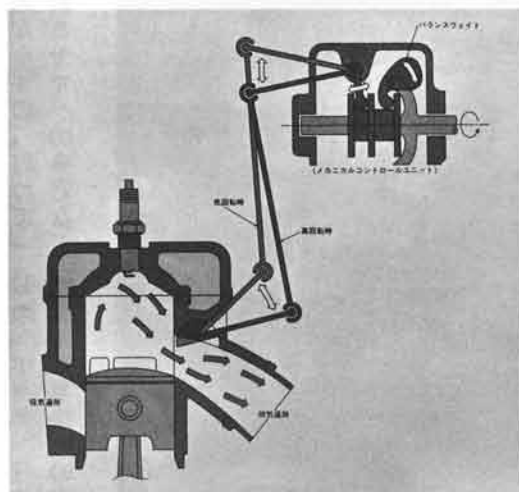
良好な燃焼が得られ、エンジン回転の不安定さもなくなつてスロットルレスポンスも向上しています。あわせて、通常のキャブレターのモデルに比べ15%もの燃料消費の節減効果を発揮しています。

市販レーサーにも実用化された

YPVS(ヤマハパワーバルブシステム)



一方、6月30日のマスコミ発表には含まれませんでした。かねてからワークスマシンに採用され確実な成果を収めている技術に2サイクル・エンジン技術「YPVS」があります。



そして、この「YPVS」もまた、単に出力の向上に威力を発揮するばかりでなく、吹き抜け、吹き返し燃料の低減と熱効率の向上によって燃料消費料も大幅に低減させるため、レーシングマシンはもとより、一般市販車への採用が待たれている新技術です。

すでに市販ロードレーサー「TZ500」に採用され、その効果を一般ユーザーの手によって立証している「YPVS」。
2サイクルエンジンでは、一般的に排気タ
イミングが早いほど高回転・高出力型の性能

にすぐれ、逆に排気タイミングが遅い場合は、低回転・高トルク型の性能がすぐれています。では、この双方の特性を満足させることはできないものか——という発想から生まれたのが、この「YPVS」です。

写真の矢印のようにシリンダーの排気口上部に排気タイミングを変えるための回転するバルブを設け、排気タイミングをエンジン負荷に自動的に連動させることにより、エンジン回転数全域にわたって大幅な出力向上を果しています。



ヤマハ省エネルギーエンジンシステムは、6月30日、東京千代田区のパレスホテル・パールルームで発表されました。経団連記者クラブ、経営経済誌、2輪・4輪専門誌と3部に分かれての発表会には約60紙誌、100名の方がたが出席。ヤマハ側からは長谷川常務取締役、荒田常務取締役、森永第4技術部長、藤田研究部課長らが説明に当り、アニメーション・ビデオを交えての発表が行なわれました。'80年代に躍進する技術のヤマハ、の最先進技術の発表とあって熱のこもった質疑応答がもつたものです。



'80年後半の 商戦に

ポツケ、RX50スペシャル、RZ250 話題の新商品ぞくぞく登場!

'80年の商戦もいよいよ後半ノ
春先からつづく順調な需要増は、史上最高の年間国内総販売台
数の達成へ、いよいよそのピッチを早めています。
中でもヤマハの伸長はめざましく、販売店みなさまの、打って
出る「ご商売と、ニーズにあわせ、ニーズを創るヤマハの多彩な

新商品攻勢がガツチリと噛み合っており、各地の市場を大きくリードし
ているところです。
さて、こうした中でいよいよ待望の新商品「RZ250」をは
じめ「ポツケ」「RX50スペシャル」も新登場。どうぞ、これら新
商品で'80年後半の商戦をさらに大きくリードしてください。



ポエットの女性客やスポーツバイクのヤングに励まされ、'80年後半の商戦に意欲をもやす「アタミオートサービス」吉田正博社長（後列左から2人目）



「80年後半も打って出る」と「己斐オートバイセンター」波多野社長（中央）と大石利明専務（右から2人目）

カット写真にご登場いただいたのは、静岡県熱海市の中心街に2店のお店を構える「アタミオートサービス」（吉田正博社長）さんと広島市の「己斐オートバイセンター」（波多野秀男社長）さんです。

2店さんとも今春からの市場の動きをそのまま反映して、めざましい業績アップをつづけているお店です。

史上最高の

お店の販売台数達成は必至！

「ここ熱海は山坂が多く、もともとバイクが普及している所ですが、ここ数年その数は急速に増えてヤマハの占拠率も高まる一方。特に今年は、バイクブーム・イコール・ヤマハブームといった感じで良く売れ、春先から好調に進展しています。

まず、3月に出た「タウニー」が、ホテルのバンドマンのみならず、ナベサダ・バイク」として大歓迎されたのを始め、ホテルや旅館の方、商店街の人びとから学生さんまで幅広い層の人たちに人気を博して、いまま快調に売れつづけています。

また、やはり3月の「XS400スペシャル」/「650スペシャル」から始まったスポーツバイクは、その後の250cc・クォーターバイクの登場で最高のもり上がりを見せ、地元のパイクファンを完全に店にひきつけることができました。そして、6月の「XJ400」「XJ650スペシャル」も大好評。とく

に「XJ400」は、すでに5台も成約しているほどです。

中でも最高にいいのは「ポエット」。これは私たちが熱海の人間のために開発されたのではないかと、と思うほど強力な戦力となっています。ファッショナブルで、しかも20kgの荷物を積んで20度近い坂をぐんぐん登る性能の良さは、お客さまに強烈にアピールできるもので「アタミバイク」なんて言葉も聞かれるほどの爆発的な人気です。

こうした状況で、特に6月はソフトバイクとスポーツバイクの需要が完全に重なり、ひと月57台、という店の月間新記録も打ち立てることができました。

——と吉田社長のお話も、まさに意気高々。春先からの打って出るご商売と、ヤマハの新商品が完全に噛み合っており、7月までの販売台数は、年頭に立てた計画をはるかにオーバーする好調ぶり。年間台数でも「アタミオートサービス」さんの新記録達成は必至の形勢です。

そして広島市の「己斐オートバイセンター」さんでも

「今年はシーズンオフから続けてきた「チラシ作戦」と11回の職域訪問販売の打って出る商売で前半の商戦をリードすることができました。中でも「タウニー」は好調で、市場には男性ユーザーをぞくぞくと生み出して

います。

また、話題のクォーターバイクシリーズも「RZ250」の登場でクライマックスというところですが、こちらもアダルトを含め順調。後半戦も「折込みチラシ作戦」で一大攻勢をつづけていきます。

——とこれまたファイトいっぱいVサインです。

空前のバイクブームを推進する ヤマハのニューモデル群

ところで、'80年バイク市場の空前の活況ぶりは「アタミオートサービス」さん、「己斐オートバイセンター」さんのお話を伺うまでもなく、みなさまのご商売にもはつきりと表われていることでしょう。現状のまま推移すれば、国内総需要は220万台にも達するのではないかと予測されているほどです。

こうした好ましい傾向をもたらしているのが、ソフトバイクによるバイクの市民権の確立。この結果としてスポーツとしてのモーターサイクルの見直し、アダルトを中心としたいままでとは異なった男性需要層の台頭——にあること。また、この傾向はソフトバイクからレジャーバイクそしてビッグスポーツへと拡がっていることは、本誌でも再三お伝えしてきました。

そして、こうした状況に「省エネ」という社会的気運が加わり、また販売店みなさまの「打って出る」ご商売が、さらに拍車をかけ

ることとなっているわけですが、この傾向をまさに決定的なものにしているのが、市場のニーズを的確にとらえたヤマハのニューモデル群であることはいまでもありません。

男性ソフトバイク市場の形成をめざして登場した「タウニー」の市場評価はめざましくこの成果は、オールマイティバイク「ポエット」へとつながりさらに8月から新登場する「男のリトルバイク」「ポッケ」への波及効果が期待されるものです。また、「ビュティフル・モーターサイクル・ワールド」を広げて好評の250cc・クォーターバイクは「RZ250」の登場によって、新しい需要層の広がりを一層大きなものとし、またこれら需要層を確実にみなさまのお店に結びつけるものです。

そして、登場以来圧倒的ともいえる人気を集める4サイクル・スーパースポーツ「XJ400」「XJ650スペシャル」……ソフトバイクからビッグスポーツに至る充実したニューモデル群によって、すべての需要層に対応する商品構成が完成。それはそのままお客さまの多種多様なニーズに一段とキメ細かく応えるものとなって、空前のバイクブームの強力な推進役を果しているのです。どうぞ、'80年後半の商戦も、打って出る。積極的なご商売の展開、これら新商品のもつ高度な商品性と市場競争力を存分に活かした販売活動のご展開によって、より一層大きく乗りきっていただきたいものです。

男の遊びびっころを満たす

小粋なPOCKET(ポッケ)新登場!

軽量、ミニマムサイズ、折りたたみ可能式ハンドルや開閉レバー付タンクキャップを装備した小粋な新レジャーバイク。2サイクル・トルクインダクションエンジン、ハンドクラッチの4速ミッション、CDI点火方式を採用した本格的なベットのバイク「ポッケ」が、いよいよ新発売となります。

交通渋滞や駐車難、ガソリン価格の高騰などクルマをとりまく諸環境の悪化や、ソフトバイクの大量投入によって開拓された女性ユーザーを接点として、ますます盛りあがりを見せる男性層の需要曲線。

さらに今春から新発売された男のソフトバイク(ヘタウニイ)により、バイクのファッション化傾向も高まるなど、バイク市場における新しいニーズの芽生えが目立っています。一方、そうした傾向とともに確実に育っているのが、スポーツバイクや、レジャーバイクをすでに十分楽しんだ、いわゆるモーターサイクル卒業派ともいえる層。バイクをベッ

ト的に考え、手軽に乗れる中にもある程度のモーターサイクル的なメカニズムを求める男性ユーザーの増加です。

今回、新発売の「ポッケ」は、すなわちこれらヤングアダルトの遊びごころに添えたバイク。ちよつとファッショナブルで、それでいてタウンに、レジャーに気軽にかつ爽快に乗れる小粋なバイクです。

折りしも、今日のレジャー傾向はアウトドアスポーツとパニング時代。ファッショニシティと機能性とゆとりある楽しさを求める時代に突入していますが、この「ポッケ」こそまさにこうした時代にふさわしいバイク。

いままでのレジャーバイクにはない、新しい機能と魅力を備えた新ベットバイクです。

ポッケの主な特徴

快適なライディングポジションを確保したミニマムサイズ

見るからにかわいい「ポッケ」の特徴は、なんととってもバランスのとれたミニマムサイズです。車両重量52kgはこのクラス最軽量。全長1280mm、前後ホイール6インチもこのクラスの国産最小サイズながら、ムリな姿勢をとることなく、快適なライディングポジションが確保された設計となっています。

エンジンも2サイクル・トルクインダクションの本格派

そして、もうひとつの特徴が、その外観とは対照的に、精悍そのもののメカニズム。エンジンはGTやRDで定評の2サイクル・トルクインダクションエンジンを搭載したほか、ハンドクラッチ、4段ミッションを採用。点火方式もCDI点火と、本格派バイクにふさわしい内容を備えています。

タウン感覚いつぱいのファッショナブルバイク

とはいえ、なんとも小粋なのが、そのスタイリング。最も安定性の良い三角形をベースとしたデザインはファッション感覚抜群で、カラーリングも●チャビレッド●マキシムイエロー●キヤンディブルーの3色。街に出ても目をひく要素がいつぱいで、タウン感覚が満ちあふれています。

すぐれた車載機能はアウトドアレジャーに最適

たとえば、折りたたみ可能なハンドルや開閉レバー付タンクキャップ、ガス抜き機構付きキャブレターの採用は、パニングなどへの積載に便利。軽量52kg、全長1280mmのミニマムサイズは、まさにアウトドアスポーツの手軽な「足」として活躍すること間違いなしです。もちろん、格納スペースをとらない収納性の良さも魅力のひとつ。階段下のちよつとしたスペースや屋内にも簡単に格納することができます。

25Wヘッドライトなど

安全装備も積極的に採用

そのほか、安全装備も充実。レギュレーターや前後ブレーキのライニング摩耗インジケータの採用をはじめ、25Wの明るいヘッドライトやオイル警告灯など、このクラスでは驚くべき安全性の配慮がなされています。

さて、以上が新ベットバイク「ポッケ」の主な特徴ですが、最後にこの商品の有力ターゲットのプロフィール一例をご紹介します。う。お店のご商売にお役立てください。■50ccスポーツやレジャーバイクからの代替ユーザーなど、すでに既存バイクを乗りまわして十分楽しんでいる方
■ビッグバイクのセカンドバイクとして手軽なバイクを購入する方
■クルマを所有してちよつとした買物やおつかい用にバイクを購入する方
■パニングなどクルマを利用したレジャーのお供にバイクを車載していく方
■バイクを使った新しい遊び、楽しみ方をしたいと考えている方
■バイクをベットの存在にする方
■格納スペースが狭く、階段下などのちよつとしたスペースにバイクを格納する方...



話題の本格派スベシヤルが50ccの世界に

50cc初のRX50スベシヤル

ライダー側に大きく引かれたブルバックハンドル。なめらかなカーブを描くティアドロップタンク。低くどっしりとした段付きシート。車格も、乗車感もこのクラスでは最高の、50ccスポーツ初の本格スベシヤル。いま、スベシヤルにふさわしい本格的なメカニズムを備えて『RX50スベシヤル』が衝撃のデビューをします。

あのアメリカンホースバックライディングの爆発的なブームを巻き起した『XS650スベシヤル』がデビューしたのは、昭和53年のこと。以来、この『スベシヤル』タイプはスポーツバイクの新しい主流として、確固たる地位を築きあげてきました。

XS650スベシヤルを皮切りに、XS750スベシヤル。さらに、XS400スベシヤルと続き、ついには今春、XS250スベシヤルも新登場するといった人気ぶり。そして、このXS250スベシヤルにいたっては発売2カ月で一躍このクラスの販売台数のトップに踊り出るといった勢いを示しているのです。

では、この人気の秘密は何か——といえば、リラックスした乗車感や優雅なスタイル、スリムで低い車体構成や自由で気ままなイメージ。いままでのバイクにはないヒューマン・フィードバックと格調高い仕上げが、クラスを超えて多くのバイク・ファンの共感を呼んでいることです。

もちろん、この『スベシヤル』人気は、50ccスポーツバイク・ユーズァーの間でも急上昇していることはいまでもありません。例えば、ビッグバイクのような本格的なスポーツバイクスタイル、ハイメカニズムで高性能、車格が大きい——ことが、バイク選択の3大理由であるように。そうして、こうしたユーズァーニーズを通して、よりいっそうビッグバイクへの憧れを強くしているのです。

そこで、これらのユーズァーニーズに応えて

開発されたのが、50cc初のアメリカンホースバックライディングスタイルの『RX50スベシヤル』。50ccスポーツバイク市場をさらに拡大する本格的なスベシヤルバイクの登場です。

RX50スベシヤルの主な特徴

すべての部分にスベシヤルフィードバックがたっぷり！

ライダー側に大きく引かれたブルバックハンドル、なめらかなカーブを描くティアドロップタンク、低くどっしりとした段付きシート、スベシヤルの風貌をつくる小径幅広リヤタイヤ、マイルドなサウンドを響かせるシヨートカットメガホンマフラーなど、『RX50スベシヤル』はどこをとっても『スベシヤル』仕様そのもの。725mmの低いシート高に腰をおろし、ブルバックハンドルを手にすれば、まさに気分はロングツアラーのフィードバックです。

50ccイメージを超えた高品質・高級感

『RX50スベシヤル』の高品質・高級感はその部分からもうかがえます。例えば、メッキサイドカバーやメッキグリップバー、メッキマフラー、タックロールシート、ニューデザインのキャストホイール、750cc並みの高級塗装、塗装仕上げの前後フェンダー。装備の充実はもとより、細部までの仕上げや材質の配慮まで、50ccの枠をはるかに超えた風格がすみずみからあふれています。

50ccクラス最大の車格でビッグで優雅な乗車感

さらに、前輪に2・50—19の大径ホイール、後輪に3・50—16の小径幅広タイヤの採用は、18インチが主流の50ccクラスでは最大の車格。また、前後のホイールトラベルもこのクラス最高で、悠々とした走りを実現します。

7馬力/9000回転をはじめ高性能&ハイメカニズム

そして、もうひとつのビッグなセールスポイントが、高性能&ハイメカニズムです。ヤマハ独自のトルクインダクション・エンジンには、7馬力/9000回転の高性能。低中速性能にも優れた扱いやすさは、74kgの軽量さと相まって小気味よく走るバイクに仕上げられています。加えて、CIDI点火やタコメーター、5速ミッション、油圧式ディスクブレーキなどメカニズムも充実。スベシヤルにふさわしい本格装備が施されています。

スベシヤルならではの細心の配慮と安全機構の積極的採用

使いやすさと安全性についてもまた、『RX50スベシヤル』はこのクラスの対抗バイクにグッと差をつけています。具体的には、50cc初の見やすく豪華な一体式傾斜メーターや確実な始動とメンテナンスフリーのCIDI点火、さらにシート後部にもうけた便利な小物入れ、8・5リットルの大容量フュエルタンク、パワレバー、ヘルメットホルダー、ステアリングロックなど。

一方、安全機構でも、50ccスポーツ初のレギュレーターをはじめ、90ccクラスの実力を誇る25W大型ヘッドライトやオイル警告灯、後輪ブレーキ・ライニング摩耗インジケータを採用するなど、スベシヤルならではの細かい配慮が施されているのです。

新時代

待望のスーパースポーツ

RZ250、いま新発売!

「これほどエキサイティングなマシンが、スポーツ車の歴史の中にあつたのだろうか」——昨年秋のデビュー以来、世界中のエンスーリヤストの間に轟々たる話題を巻き起こしていた「RZ250」が、いよいよ国内発売となります。

1/4世紀にわたるヤマハ2サイクルテクノロジの結晶ともいえる、このスーパースポーツの全容については、すでにさまざまな角度からスポットが当てられています。ここに改めてその開発意図、設計の狙い、主な特徴をご紹介します。

「RZショック」などと呼ばれるほど、市場のムードも最高潮。どうぞこのもり上がりを確実に拡販にお役立てください。

2サイクルの

限りない可能性を追求した

TZ直系のスーパースポーツ

まず結論的にいえば、この「RZ250」こそは、80年代のミドルストリートクラスに對するヤマハ2サイクルテクノロジのひとりの回答である。ともいえるでしょう。昨年来伸長著しい250ccクラスは需要増に比例してお客さまのニーズも多様化し、商

品バリエーションも拡大の一途をたどっています。その主流となつてのが、4サイクル。モデルであることはご承知のとおりです。しかし、こうした4サイクル化の流れが奔流となればなるほど、胸のすく加速感、鋭いスロットルレスポンス、軽快なフットワークといった2サイクルならではの「スポーツ性」が、モーターサイクルの原点として見直され、その特性を存分に活かしたスーパー2サイクルの出現を待ち望む声が一段と高まっている

ことが、設計に当ってはスーパースポーツの究極の姿、走りの科学の結晶であるロードレーサーの技術成果を余すところなく導入し、走る、曲がる、停まる。基本機能の最高次元でのトータルバランスを追求したもので、世界最強の市販レーサー「TZ250」のストリートバージョンのいわれも、まさにこの点にあるのです。

ことも大きな事実です。

そして、この「スーパー2サイクル待望論」に応えて新開発したのが、この「RZ250」。

●加速性能、最高性能、走行安定性、操縦性など、性能面と同クラスのすべてのモデルを凌駕するスーパースポーツ性を備え、●スタイリングやライディングポジションの面でも、最高度のスーパースポーツ機能を備えていること

「RZ250」の開発の狙いは、まさに2サイクルの限りない可能性を求め、2サイクルでなければ成し得ない領域の「スーパースポーツ性」の実現にあつたのです。



RZ250の主な特徴

RZのスーパースポーツ性を主張する
圧倒的なハイパワー

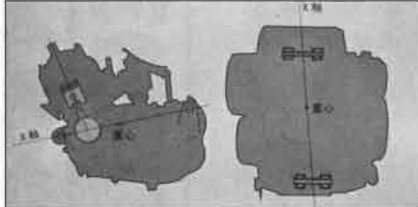
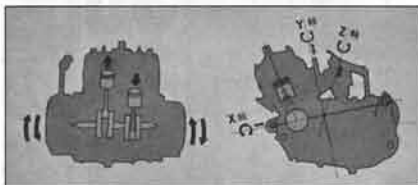
2サイクル・水冷・ツイン・クロスレスショ6段変速、「RZ250」を特徴づける第1のポイントは、この「TZ250」ゆずりのパワーユニットです。

エンジンの基本構成は、54×54mmのボアストロークも含めTZと同一。これにより最高出力は、毎分8500回転で35馬力と、じつに1ℓ当り140馬力に相当する圧倒的なハイパワーを発揮します。

もちろん、こうしたTZゆずりのホットな性格に加えて、スーパースポーツ・RZ独自の味付けが施されていることはいまでもありません。

つまり、2連装備のVM型キャブレターは26φと小口径化して低速域のレスポンス向上

オーソゴナル・エンジンマウント



2サイクル、ツインエンジンの振動をコンピューターで解析し、エンジン振動の吸収に最適なマウント位置、数を設定して車体に伝わる振動を低減させたのが、「RZ250」のオーソゴナル・エンジンマウントです。

●
《オーソゴナル(orthogonal)》とは数学用語で、「直角の、直交の」という意味。オーソゴナルエンジンマウントは「直交懸架方式」と呼べるものです。

●
2サイクル、ツイン、180度クランクのエンジンでは、上図のようにピストン運動による上下運動が主な振動ですが、この他にも回転運動や重量バランス等の複雑な関係で多方向に振動が発生します。

●
オーソゴナルエンジンマウントは、これらの振動とエンジン特性とをコンピューターで解析し、下図のようにピストンの運動方向と所定の角度を持ち、かつ重心を通る直線上にマウント位置を設定しています。これにより、エンジンはローリング振動のみとなり、ここにひとつの共振回転数をもつ振動系が形成されます。また、マウントのバネ定数、マウント幅を選定することにより、自由に共振回転数を選ぶことができます。そこで、この共振回転数を通常使用回転数以下に設定するために、計算されたバネ定数を持つゴム、マウントを採用して共振回転数以外のすべての回転域で大幅な振動低域を図ることができるわけです。



軽量コルゲートフィン型アルミ製ラジエーター
水冷方式は、プレッシャータイプクーリングで、冷却水の沸点を上げ大気との温度差を拡大して放熱効果を高めている。右サイドカバー内にリザーブタンクを設置



新採用の吸気バランスパイプ
左右の吸入管をつないだバランスパイプは、中速回転域で効果的な脈動効果をひき出し、吸入効率を高めてパワーアップを図る新方式



大容量エアクリナー
フューエルタンク裏側、モノクロス・サスペンション前部に設置した大容量エアクリナー。2段階膨脹式吸気サイレンサーを設けて吸気音も低減

を図り、また左右の吸気管には新開発の「吸気バランスパイプ(写真参照)」を新設して、中速域のトルクレンジを拡げているのです。そして、水冷方式は、この全回転域にわたるハイパワーを長時間の連続走行にも一段と安定したものとしています。

139kgの軽量ボディ
抜群のパワーウェイトレシオが立証するハイドライブビリティ!

ハイパワーの確保とともにスーパースポーツの絶対条件となるのが車両重量の軽減です。これについて「RZ250」では、当初から軽量化の目標値を設定し、水冷方式、モノクロスサスペンションの装備など、重量面のハンデキャップを克服して「139kg」という驚異的な軽量化を実現させました。

この結果、加速性能や走行性能を計るひとつの目安となるパワーウェイトレシオ、つまり1馬力当り重量は、3・97kg/PSと、250ccクラスで初めて4kgを割っています。スーパースポーツに不可欠な軽快なハンドリング性能と抜群の扱いやすさ、そしてクロスレシオ6速ミッションとの絶妙のマッチングによる最高度のドライブビリティとエキサイティングな走り……「RZ250」が生み出すスーパースポーツの新しいフィーリングのすべてが、このパワーウェイトレシオ「3・97kg/PS」に物語られているといえます。

「オーソゴナルエンジンマウント」で大幅な振動の低減に成功!

また、こうした軽量化の過程で、振動の低減がもたらす効果は絶大なものがあります。つまりエンジン振動の低減は、単にライダーにとって快適な走行をもたらすばかりでなく、フレームの強度負担を軽減し、車体全体の軽量化を進める重要な要素となるのです。

このため「RZ250」では、本来動的バランスにすぐれ、スムーズな回転で振動の少ない2サイクル・パラレルツインに、世界初の振動吸収エンジンマウント「オーソゴナルエンジンマウント」方式を採用、4サイクルマルチリンダーをしるが大幅な振動の低減に成功しています。(前ページ別項参照)

「オーソゴナルエンジンマウント」で大幅な振動の低減に成功!

また、より低くセットしたハンドル、790mmの低シート高、思い切り後方に高くセットしたフットレスト、ボールジョイント使用のリンク式チェンジンベダル……によってライディングポジションも迫力あふれるスーパースポーツポジションとなっています。



国産250cc車初のハロゲンヘッドランプ
レンズ有効径170φ、12V60W/55Wの大光量ハロゲンヘッドランプで、夜間走行の安全性も向上



読みとりやすい傾斜型メーターパネル
55度傾斜させてセットしたメーターパネル。透過光式オレンジ照明で夜間の視認性も抜群。右側タコメーター内には水温計もセット



「オーソゴナルエンジンマウント」で大幅な振動の低減に成功!

また、より低くセットしたハンドル、790mmの低シート高、思い切り後方に高くセットしたフットレスト、ボールジョイント使用のリンク式チェンジンベダル……によってライディングポジションも迫力あふれるスーパースポーツポジションとなっています。

一方、車体関係の大きな特徴は、トレールモデルやレーシングマシンで定評を集めるヤマハ独自のモノクロス・サスペンションをロードスポーツ車として初めて採用していることです。イニシャル荷重5段調整式、ド・カルボンタイプのこのモノ・サスは、ニューデザインによるバナ下重量の軽減と相まって110mmと余裕あふれるホイールトラベルを確保。また52度と大きなバンク角を生み出したスリムな車体構成やステアリングの適切なセットアップによって、ロードグリップにすぐれ、横ハネや横滑りのない、抜群のコナリング性能を生み出しています。

エアロダイナミックスを極めた流麗なスタイリングとベストフィットのスーパースポーツ・ライディングポジション

また、パワフルなエンジン、高剛性フルダブルクレードルフレーム、モノクロス・サスペンションそして強力な前後ブレーキ……等の理想的なマッチングによって生み出された卓越した操縦安定性は、まさに特筆大書されるところですが、この走行性能を一段とさわだたせているのが、エアロダイナミックスを極めた流麗なスタイリングです。

16・5ℓ容量のロング&ビッグフューエルタンクからシートエンドまで流れる一体ライン、深いえぐりを与えスリムでビタリと決まるニードルリップ、完全にエンジン下部を通しリヤタイヤ前を外側に通じるエキゾーストパイプマフラー、ウイング付きシートカウル……「RZ250」を特徴づけるこれらは、いずれも前面投影面積を縮小し、エアロダイナミックス効果を高めたもの。

RX50 Special

- カラー：ニューヤマハブラック } キヤストホイール仕様車
ブリリアントレッド
- ニューミッドナイトブルー } スポークホイール仕様車
ブリリアントレッド

RX50 Specialの主なセールスポイント

- 50cc初の本格的スペシャルスタイリング
- 50ccクラス最大の車格とビッグバイク同様の高品質・高級感
- 7 PS/9000rpmの高性能エンジン
- 74kgの軽量ボディ
- 5速ミッション、油圧式ディスクブレーキ、CDI点火、タコメーター……ハイメカニズムと充実した装備

RX50 Specialの主な仕様諸元

● 全長1880mm ● 全巾805mm ● 全高1120mm ● 軸間距離1230mm ● シート高725mm ● 乾燥重量74kg
 ● 2サイクル・トルクインダクション・単気筒・49cc ● 最高出力7.0 PS/9000rpm ● 最大トルク0.57kg-m/8000rpm ● 始動方式キック ● 点火方式CDI ● 燃料タンク容量8.0ℓ ● オイルタンク容量1.2ℓ
 ● 変速機リターン式5段変速 ● フレーム鋼管セミダブルクレードル ● ブレーキ(前)油圧式ディスク(後) 機械式ドラム ● タイヤ(前)2.50-19-4PR(後)3.50-16-4PR ● ヘッドランプ12V25W/25W



POCKE

- カラー：マキシムイエロー/チャビイレッド/キャンディブルー

POCKEの主なセールスポイント

- 国産最小の6インチホイール、52kgの軽い車重、らかな姿勢で乗れるミニマムバイク
- 2サイクル・トルクインダクションエンジン、ハンドクラッチ、4速ミッション、CDI点火……ミニマムサイズに秘めたハイメカニズム
- 小粋なタウン感覚のスタイリング
- パニングなどアウトドアレジャーの幅を広げる車載機能

ポッケの主な仕様諸元

● 全長1280mm ● 全巾690mm ● 全高920mm ● 軸間距離885mm ● シート高660mm ● 乾燥重量52kg ● 2サイクル・トルクインダクション・単気筒・49cc ● 最高出力3.0PS/5500rpm ● 最大トルク0.42kg-m/4000rpm ● 始動方式キック ● 点火方式CDI ● 燃料タンク容量5.3ℓ ● オイルタンク容量0.7ℓ ● クラッチ・ハンドクラッチ ● 変速機4段変速 ● フレーム鋼管ダイヤモンド型 ● タイヤ(前後とも)3.50-6-2PR ● ヘッドランプ6V25W/25W



RZ250

●カラー：ニューパールホワイト
ニューヤマハブラック

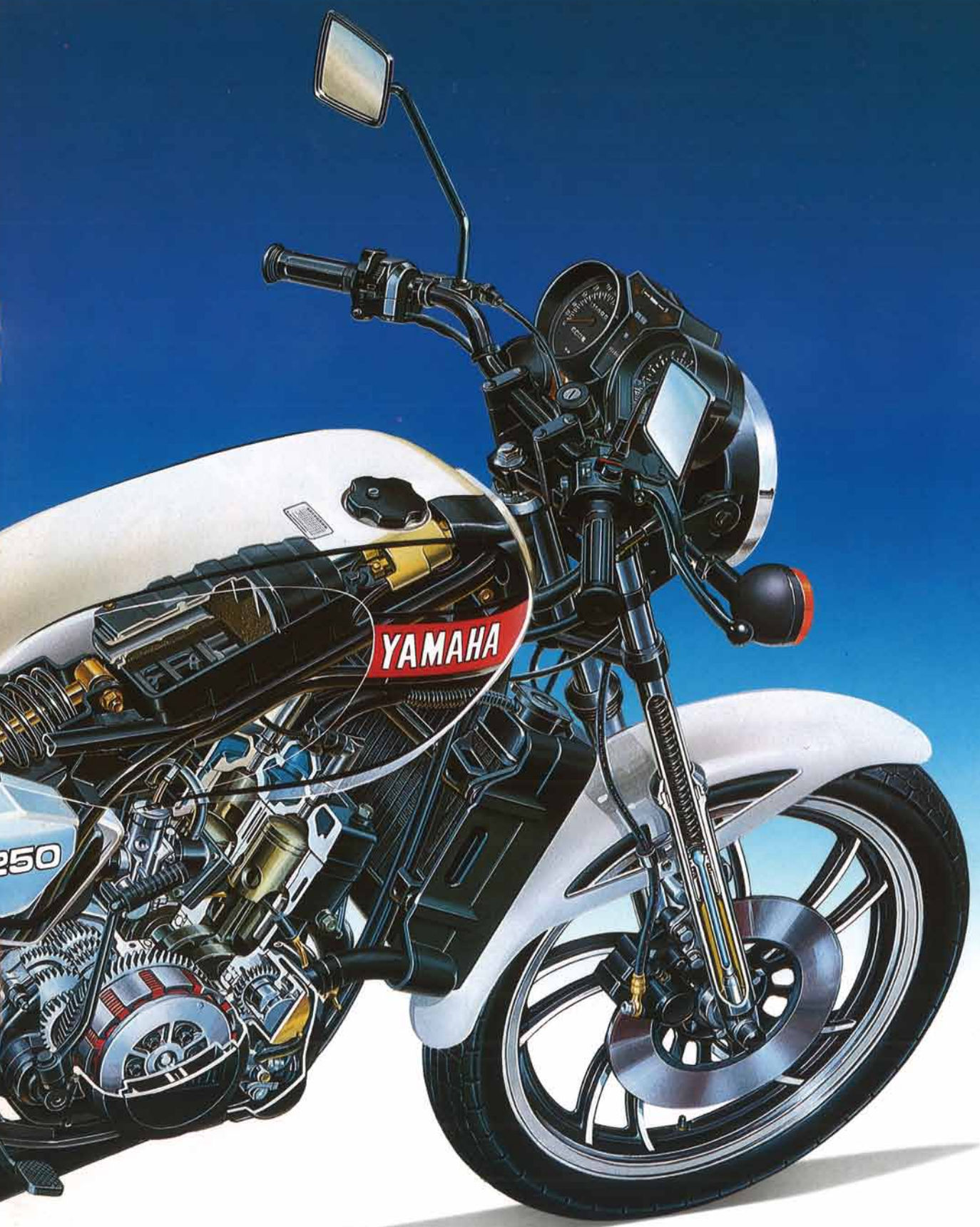


RZ250の主なセールスポイント

- ロードレーサー「TZ250」レプリカの水冷・2サイクル・ツインエンジンは、35PS / 8500rpm、 λ 当り 140PS 相当のハイパワーを発揮
- 139kgの軽い車重。3.97kg / PS と 250cc で初めて 4kg を切ったパワーウェイトレシオ。
- エアロダイナミクスをきわめた流麗なスタイリング。ベストフィットのスポーツ・ライディングポジション
- 「オーソゴナル・エンジンマウント」による大幅な振動低減
- ロードスポーツ初のヤマハ・モノクロス・サスペンション採用
- 250cc初のハロゲン・ヘッドランプ装備

RZ250仕様諸元

●全長2080mm ●全巾740mm ●全高1085mm ●シート高790mm ●軸間距離1355mm ●最低地上高170mm ●乾燥重量139kg
●燃費(定地走行テスト値) 37km/ℓ (50km/h) ●登坂能力31° ●最小回転半径2500mm ●制動停止距離15m (50km/h)
●水冷2サイクル・トルクインダクション・並列2気筒・247cc ●内径×行程 54×54mm ●圧縮比 6.2 ●最高出力 35PS / 8500rpm ●最大トルク 3.0kg-m / 8000rpm ●始動方式キック ●点火方式CDI ●燃料タンク容量16ℓ ●オイルタンク容量1.6ℓ ●潤滑方式ヤマハオートループ ●バッテリー容量12V5.5AH ●バッテリー型式12N5.5-3B ●点火プラグB-8 ES(NGK) ●キャブレターVM26(三国) ●エアクリナーエレメント湿式ウレタンフォーム
●1次減速(比)ギヤ(2.869) ●2次減速(比)チェーン(2.562) ●クラッチ湿式多板式 ●変速機リターン式6段変速 ●変速比①36/14=2.571②32/18=1.777③29/22=1.318④26/24=1.083⑤25/26=0.961⑥24/27=0.888
●フレーム鋼管ダブルクレードル ●キャスト26°50' ●トレール101mm ●タイヤ(前)3.00S18-4PR(後)3.50S18-4PR ●ブレーキ(前)油圧ディスク(後)機械式ドラム ●懸架緩衝装置(前)テレスコピックオレオ(後)ヤマハ・モノクロス・サスペンション ●ホイールトラベル(前)140mm(後)110mm
●ヘッドランプ12V60W/55W ●テールランプ12V 8W ●ストップランプ12V27W ●フラッシャーランプ12V27W ●メーカーランプおよびその他パイロットランプ類12V3.4W



YAMAHA

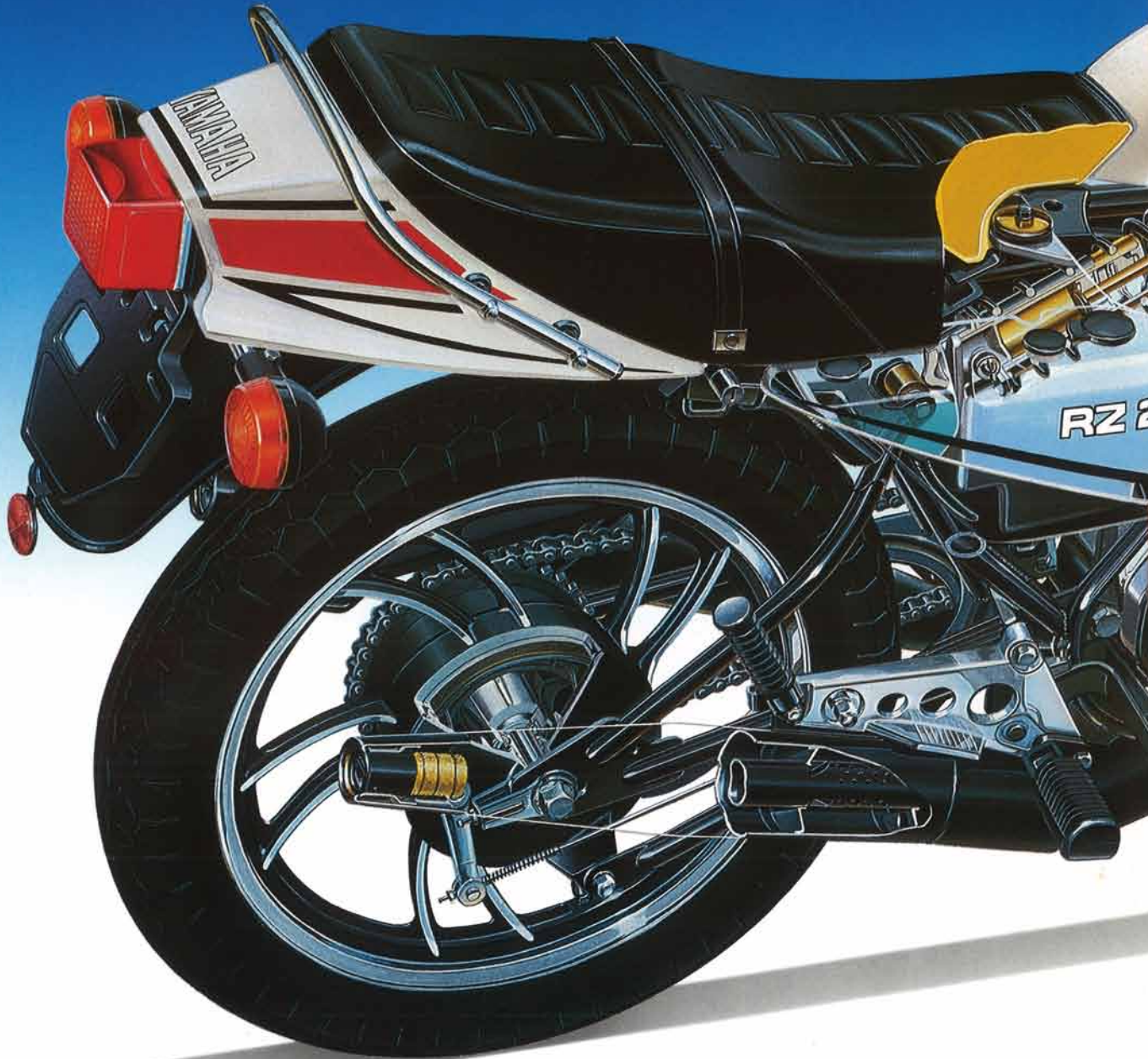
250

RZ250

35PS/8500rpm 139kg

2-cycle Liquid-cooled Twin

YAMAHA Mono-cross Suspension





ヤマハのレース活動に、いまひときわ大きな関心が寄せられています。衝撃のニューマシン「RZ250」や世界の注目を集める省エネルギーエンジンシステムなど、先進のヤマハ技術の多くが、レース活動によって生み出され、鍛え抜かれたものだからです。こうした中で、ヤマハマシンとヤマハラライダーが、今シーズンもかずかずの話題を提供しているところでは――

ケニー・ロバーツ + YZR500

破竹の3連勝で

V3へまっしぐら!



「キング・ケニー、今年もつよし!」なんていっても、もっか最大の話題は世界選手権ロードレースGP500ccクラスにおけるケニー・ロバーツとヤマハラYZR500の快進撃

です。

前半5戦を終了して3優勝、がっちりとランキング首位の座をキープしています。中でもイタリア、スペイン、フランスとつづいた開幕3戦での破竹の3連勝は圧倒的で、「YZR500」に装備された先進技術「ヤマハ・パワーバルブシステム」の効果を立証しながら、3年連続世界チャンピオンの座へばく進中です。

光安鉄美 + YZM125

初挑戦の世界GPで

大健闘!

一方、日本のファンの関心を一身に集めているのが、125cc級世界選手権モトクロスシリーズへの初挑戦

Motor Sports Color Highlight

◎西ドイツGPで初の世界GP制覇にひた走る光安とYZM125。この125ccシリーズは各国の若手ライダーが激突するフレッシュなレースが人気を集めている

◎10数万人という大観衆を集めて続けられているロードレースGP。①ケニーはこのサーキットでも注目的。また今年は、④チェコット、⑥B・デュルメンをはじめ「TZ500」勢の活躍も話題を集めている（写真は第7戦オランダGP）



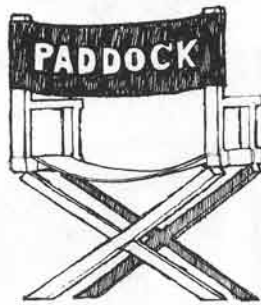
を続けている全日本チャンピオン光安鉄美とヤマハYZM125の動向です。
全11戦、22ヒートのシリーズは7月6日のフィンランドGPで9戦を終了しましたが、光安選手は世界の強豪に伍してランキング5位をキープ。特に第6戦西ドイツGP、第8戦チェコGPと2GPにおける総合優勝は、全日本チャンピオンの真価を発揮した堂々たるものとして評価を高めています。（詳細は30ページをご参照ください）



旅こころ

サンフランシスコから約4時間のライディング。シエラネバダ山脈の西斜面に広がるヨセミテ国立公園。壮大な滝、美しい溪谷、大樹林や杉並木……探勝に2日は欲しい、といわれるほど変化に富んだ大自然がつづく。

ヤングからミドル、ミスからミセスまでの話題と流行の情報コーナー・話のパドック。お客さまとの話のタネに、どうぞ――



本



●この1冊でナベサダのすべてを!

「ボクのバイク・ヤマハタウンイ」で、あの親しみやすい笑顔を日本中に広めた渡辺貞夫さんの単行本が出版されています。

『渡辺貞夫読本』(岩浪洋三編、荒地出版社刊1400円)。ここ数年間に

さまざまな雑誌やプログラムに発表されたエッセイや対談に渡辺さん自身の文章も加えて一冊にまとめたもの。多彩な顔ぶれによる「ナベサダ」の人物スケッチや音楽論もさることながら、さまざまな音楽家との自由奔放な対談は読みモノ。「大切なのは素直な心と生き方だ」という言葉とともに、あの笑顔に秘められた本当のやさしさが伝わってくるようです。お客さまともどもぜひ一読を!

●コンピューターが発見した大作

本の話をもうひとつ。世界的大文豪シェークスピアの埋もれていた作品を、なんとコンピューターが「たしかにシェークスピアの作品」と鑑定したと話題を呼んでいます。

「サー・トーマスマアの本」というのが問題の書ですが、これをどのように分析し、鑑定したかといえば、エジンバラ大学コンピューター科学部が開発した文体分析法。これは、文章における特定の言葉の使い方のクセ、接続詞の使い方など筆者独得の癖を読み取る鑑定方式によるもので、他人がいくら真似をしても見分けられるというもの。

しかし、シェークスピアの文体分析法から今年新発売のヤマハスポーツシリーズの有限要素法構造解析まで、まさにシェークスピアもビックリのコンピューターの活躍ぶりです。

旅行

●迷惑な予約殺到

ところでヤマハスポーツの有限要素法構造解析プログラムは、かのNASA・米航空宇宙局の開発によるものですが、当のNASA

は、いま迷惑な予約殺到でてんてこまいとか。「R・レッドフォードの隣の席を2人分」とか「家族と愛犬の席を」といって毎月1200通もの座席予約注文が寄せられてくるのです。

なんの座席かと言えば、これがこの冬にも処女飛行を予定している宇宙連絡船「スペースシャトル」というから驚きですが、それもアメリカばかりでなく遠くはスリランカやアフリカからの注文もあるとか。「働かない乗客をスペースシャトルに乗せる計画は当面ありません」とNASAは説明に大わらわだといっています。

アイデア

●これもターボだ!

いまや「ターボ」がちよっとしたブームを呼んでいます。特に4輪などは、普通の車に組み込めるキットがぞくぞくと登場してマニアの話題を集めています。この「ターボ」ブームで思わぬ大儲けをしたヤングまで出現したほどです。

つまり、この若者「ターボ」という言葉そのものを商標出願、磁気ラバーで車に付ける

ステッカーを作ったのです。これが、大反響を呼んでホクホク顔。理由は簡単で「ステッカーを張ってあれば普通の車でもターボだと思われる」とか。それにしても「とくに登録されていると思った」という商標を登録したこの着眼点には、やはり脱ポーですな。

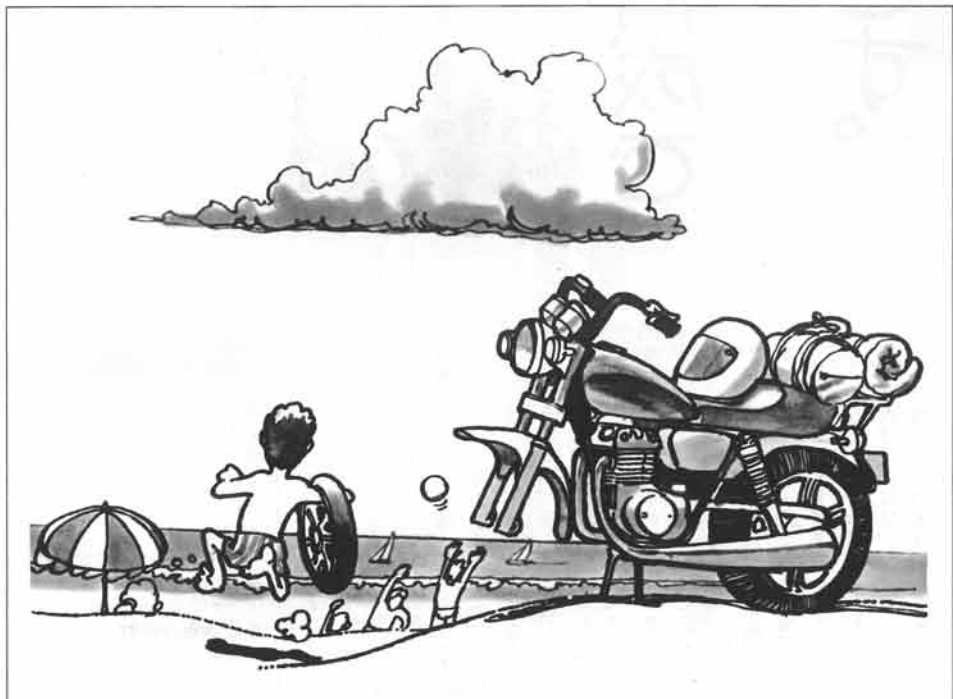
電話

●8月1日から新システム

ご商売になくはならぬもののひとつに電話がありますが、8月1日からは市外電話の料金を、受信した人が支払う「コレクトコール制度」がスタート、また利用法をひろげています。

このコレクトコール制度は、「106番」をダイヤルして交換手を呼び出し、自分の名前と相手番号、コレクトコール指定を告げて市外通話を申込むシステム。

通常の市外通話料の外に1回90円の手数料が加算されますが、10円玉ひとつで公衆電話からでもタツプリと市外電話がかけられるのがミソ。もちろん、話し終ればその10円玉も戻ってきます。



商圏拡大は、マーケットリーダーの育成だ。 そのためには、 店の信頼を高めぬことが第一だ。

展示試乗会、原付免許教室、そして最も力を入れている団地への点検サービス……を3本柱に著実な業績アップをつづけるサイクルショップ西本さん。
一見、何の偏りもない「商売のよう」ですが、西本社長の「打って出る」意欲はめざましく、それがまた「販売店は出張修理をしない」という因習まである古い土地でのこととなると驚かざるを得ません。2年前、この新しい土地にお店を構えた西本社長の「商売の第一歩は、こうした古い穀をとり壊すことからスタートしました」。



こんにちは
ヤマハです
'80-8

サイクルショップ西本 西本正社長
香川県高松市東山崎380-17 ☎0878-47-9267



貴方もバイク仲間
原付免許 自宅学習
セット無料貸出し中

原付免許 自宅学習
貸出記録者名
自宅学習セット
サイクルショップ西本
TEL 47-9267
S53.8.

免許教室の中でもとくに自習セットの活用に力が注がれている

**省エネと省タイム
団地の人びとにバイク通勤を
アピール!**
この恵まれた商圏の中で、もっか西本社長が最も力を入れているのが、「通勤の足」としてのバイクの普及。高松市内への通勤時間がこれまでの2倍となった最近では、人びとのクルマ離れも目立って増えています。そして、こうした人びと、特に商圏内の団地の人びと

環境も条件も、
最高に恵まれた商圏で
サイクルショップ西本さんのある東山崎は、いま高松市郊外のベッドタウンとして脚光を浴びている所です。高松市内へ車で20分という交通の至便さ、通勤にも最適な場所として宅地造成は急ピッチで進み、人口も膨張する一方というのが現状です。
当然のことながら、高松市内へ通じる長尾街道の朝夕の通勤ラッシュもまた激化の一途をたどっています。そして人びとは、クルマに代わる新しい暮しの足を考え始めています。もちろん、こうした条件や状況は、バイク販売店さんにとって望ましいことばかり。バイクに対する見直しは、商圏内に3つもある団地の通勤世帯の人びとから、新聞配達や牛乳配達などの業務用の人びとまで、きわめて幅広くひろがっています。そして、開店以来2年、サイクルショップ西本さんの販売促進活動は、まさにこうした「バイクの見直し」を促進することにあつたのです。

に続けられているのが「混みあうクルマの間をスイスイ、バイクで通勤も楽しく、さわやかに！」というサイクルショップ西本さんのアプローチです。
対象としている団地は、お店から3kmのある県営元山団地(300世帯)、200m足らずの所の水田団地(420世帯)、またすぐ隣接する東山崎団地(70世帯)……と、その数は800世帯にものぼっています。
しかし、ある面では特殊な条件ともいえる団地へのアプローチのむづかしさは以前から全国的にしばしば話題となるところ。
「たしかに世帯数が多いとはいえ、アプローチはむづかしいですね。入居年数の長い方、オビニオンリーダー的な方と円滑にいかない、その団地はまずダメでしょう。しかし、逆にそんな人々をお客さまとし、仲良くやっていければ浸透は早い」と
とその難しさは西本社長も認めるところ。

サイクルショップ西本さんのご商売の概要

- ◆立地と商圏
高松市内から約5km離れた郊外・東山崎。周囲は近年ベッドタウンとして脚光を浴びている新興住宅地で、近くには3つの団地が控えている。
- ◆店舗
敷地……35坪 ● 店舗面積……15坪 ● 店頭展示スペース……10坪 ● サービスコーナー……1坪 ● 応接コーナー……1坪
- ◆ご商売の特徴
「商圏拡大は、打って出る商売で！」をモットーに団地の人びとに対する積極的な販売活動を展開。この柱は、もっぱら出張点検サービス。お客さまは、圧倒的に女性が多く、その

の中から、もっかマーケットリーダーの育成をめざしている。

- ◆販売促進活動
- 販売折込み……「安全と安心」のキャッチフレーズを必ず入れ、月1回定期実施。
- DM……この冬なげ込みを行なった「冬期用品カタログ」等の成果が著実に表われ始めている。
- チラシ配布……チラシは新聞折込みばかりでなく、お店近くの私鉄駅前2カ所で、通勤者に手渡しも。
- 原付免許教室……毎月1回定期開催。約50人が参加。自習セットの活用も活発で特にOLのお客さまに選ばれている



今日は団地のオビニオンリーダーのお客さまを訪問。
こうした地道な活動が、商圏の拡大につながっている

団地へのアプローチは お店への信頼のみ!

では、この容易ではないと自他ともに認める団地へのアプローチをサイクルショップ西本さんではどのように成功させているのでしょうか?

「なんといっても毎月の出張点検サービスでお客さまとの接触の機会をつくり、お客さまの信頼を集めることです」というわけ。

現在、各団地のユーザーの約3割は、西本さんのお客さま。圧倒的に多いのが主婦の方ですが、こうしたみなさんを対象に開店以来つづけてこられたアフターサービスとしての安全点検サービスが着実に成果を表わしはじめています。

「点検修理の依頼、新しいお客さまのご紹介など最近ようやくお客さまの方から電話もいただけるようになりました。でも、まだまだ浸透度は不十分ですね。こんな恵まれた商圏を指をくわえて待っているわけには行きません。そこでこの夏には、団地の人びとを対



象に展示試乗会も計画しています。

なんとといっても、これからの商圏拡大、特にうちのように団地をメイン市場としたところではマーケットリーダーの育成が先決でしょう。そのためには、今の出張点検サービスをますます充実させて、お店の評判、お客さまの信頼を高めることです」

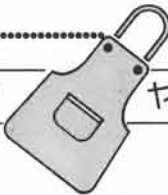
3月から10月までが最盛期という四国は高松市でのご商売。しかし、この冬は、昨年から確実につづけてきたヤマハの販売促進キャンペーンの成果もあって、シーズンオフはなし。

また、最高のもり上がりを見せる春先商戦では、近くの琴電長尾線の水田駅、元山駅で西本社長と奥さま晴美さんのお2人が通勤の道を急ぐ人びとにチラシを配布されている姿が話題を呼んだものですが、環境の変化を確実にとらえてサイクルショップ西本さんの、打って出るご商売は、ますます幅を広げるところです。



↑ヤマハの店飾セットもフルに活用してさわやかに演出された店内。応接コーナーには用品類も豊富に展示

←元銀行員で経理事務は手もの、という奥さま晴美さんと西本社長の名コンビ



**早朝のチラシの戸別配布
効果大だし健康にもいいですよ!**

●野崎伶江さま——野崎輪業(野崎晴造社長)

いくら省エネといいますが、お店のことでケチつてもしょうがありません。例えば店内照明を暗くするとか、お客さまのサービスを節約するとか。うちではその分を私たちの働いてカバーしようと思っ
ています。その第一歩が早朝の団地へのチラシの戸別配布。今までは新聞折り込みを利用していましたが、これならお客さまへの印象付けも効果大です。運動にもなるので一石二鳥。とっても気持ちがいいですよ。(枚方市)

**お店で消費している分は
家庭の“省エネ”でカバー**

●石田美津恵さま——二輪インダ(石田裕社長)

お客さまにとってお店はオアシスでなければなりません。ですから、基本的にはお店の省エネはあまり考えていません。ただ、電気を使ったアイスクリーパーから氷入りの魔法ビンに切り替えただけですか。あとは午前中のクーラー休止がうちのお店で省エネ対策といえるものです。それはともあれ、家庭内での省エネは結構厳しく取組まっています。電気やテレビのつけっぱなしや、水の出しっぱなしはネッ。(羽曳野市)

新聞チラシには必ず

“省エネ”の文字を入れていきます

●菊地福子さま——菊英輪業(菊地三千男社長)

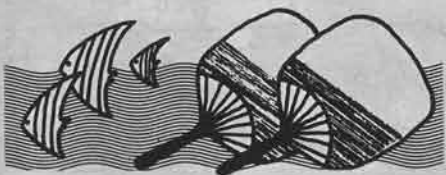
お店での節電はお客さまに悪いイメージを与える恐れがありますので実施してはませんが、ポスターなんか使った後は裏面を中古車情報の告知に使うなど、廃物利用に心掛けています。それと、毎月1回の新聞チラシには必ず「省エネ」の文字を入れバイクの経済性を訴求したり。先日はコーヒーマーカーのセールスが自動販売機を置きにきたので、私がお茶を入れた方が省エネになるし安上がりとお断りしたばかりなんです。(仙台市)

**子供会が主催する廃物利用に
お店としても全力応援!**

●菊地つぎさま——菊地輪業(菊地昌弘社長)

省エネっていうのは、なんといつても家族全員の理解がなければできないもの。一人ひとりが節水や節電の意識をもって、始めて効果が表れてくるものです。ですから、お店でも蛍光灯の本数を減らすことより、まず一人ひとりの自覚に期待。もちろん家庭でもそれは同じでお風呂はできるだけそろって入ったり、クーラーをつかわないようにしたりネ。そうそう子供会が主催する廃物利用にも全面協力しているんですよ。(仙台市)

うちの店の省エネ作戦



暑いですネ、熱いですネ、アツイですネ。ホントにもうグッタリの毎日。でも、ここで気をゆるめていたのでは大変。さあ、今月はよりいっそう気を引き締めて“省エネ、問題に注目してみましょう。そこで、今回のテーマが——「うちのお店の省エネ作戦」。ありました、ありました。いろいろな省エネの方法が——ネッ。

**折り込み代の節約と印象付け
情報収集かねたチラシの手渡しを**

●渡辺明子さま——なべオートサイクル(渡辺恒章社長)

原付免許教室などの募集チラシを毎月1回、約5000枚ほど新聞折り込みしてはいたんですが、最近はそのうち1000枚を私たちで手渡し配布しています。暇をみては私のパソコンからお客さまのお宅を訪問したりネッ。折り込み代が節約できるし、お客さまの反応がダイレクトに伝わるし、また商圏内の情報収集ができます。省エネ転じて売り上げアップを成す。これが私の省エネ作戦です。(野田市)

**コーヒーマーカーのビス収納をはじめ
廃物利用は得意中の得意**

●杉山啓子さま——サイクルショップ杉山(杉山晴夫社長)

前々から廃物利用は心掛けていたんです。例えば、使用済みポスターの裏面をメモ用紙に利用したり、空きカンに銀紙を巻いて花ビンを作ったり、インスタントコーヒーマーカーの空ビンを利用してサイゼリヤのビスやナットの収納に利用したり。そのほかの省エネといえば、日中の明るい時は電気を消したり、テレビのつけっぱなしに気をつけています。とにかく主人は仕事に忙しい人なので、私が省エネのフォローをしているんです。(名古屋市)

**2台のクーラーもお休み
自然の風だと調子がいいですネッ**

●鈴木敏子さま——鈴木モーターズ(鈴木敏子社長)

お店では特別に蛍光灯を減らしたりといった省エネは無し。それより家庭のほうであらゆる省エネを考えています。その第1は、クーラーの廃止。昨年2台も購入しましたが、今年は未使用なんです。窓を開けると虫は飛んて来ますけど身体にはいいみたい。今年は例年になくいい調子ですよ。そして第2がソーラシステムを採用。いわゆる太陽熱風呂の湯をわかす方法。予想以上の効果で驚いているところですよ。(春日井市)

**ポケットベルと自作の部品註文書の活用で
仕事の合理化を図る**

●川口洋子さま——川口輪業(川口信雄社長)

仕事の合理化もやはり省エネのひとつでしょう。その点、うちではポケットベルを採用して省力化をはかる一方、ひと目で在庫状況がわかる部品註文書を作成して合理化をはかり、省エネに寄与しています。ポケットベルを採用してからはというものは効率よく仕事ができ、また部品註文書を活用してからは何度もメーカーさんに電話をかけることもなくなると効果は大。今後はもっといろいろな面で考えていきたいと思っています。(大田原市)

指導体制の強化をめざして 二輪車安全運転推進委員会が 「指導員諸規定」を改正

二輪車安全運転推進委員会は、さらに多くの方々に指導員等の資格を取得していただき、各地域により密着した安全普及活動を展開していただこうと、指導員に関する諸規定の見直しを進めていましたが、このほどその一部を改正しました。今回はこの改正点の中から販売店のみなさまにとくに関係する事柄をピックアップしてご紹介しましょう。



●準指導員でも地方の原付安全運転講習会の講師をつとめることができるようになりました。

今回の改正では、とくに「各指導員（特指、指導員、準指）の任務」についての見直しが行われ、それぞれの“分担項目”が整理され、改正されたことが大きな特徴です。

この中で、とくに準指導員の任務分担が大幅に改正されました。つまり、いままでは単に“指導員の任務の補佐”とされていましたが次の5項目が明文化されました。

- 準指導員の養成講習会の補佐
- 地方安全運転講習会の補佐
- 地方原付安全運転講習会の講師
- 指導員の任務の補佐
- 二輪、原付運転者等の指導

これにより、従来、単独では安全運転指導にあたることができなかった準指導員も地方の原付安全運転講習会の講師を勤めることができるようになったわけです。

●原付免許のみの取得者も、準指導員の資格が得られるようになりました。

「二輪車安全運転指導員等の資格および養成に関する要綱」の「(2)指導員等の資格基準、ウ準指導員」の項中、(イ)と(ウ)が次の様に改められました。

従 来	改 正
(イ)現に二輪免許を受けている者であること	(イ)現に二輪免許または原付免許を受けているものであること
(ウ)二輪車の運転経験が2年以上であること	(ウ)二輪または原動機付自転車の運転経験が2年以上であること

これにより、従来は二輪免許がなければ準指導員になることができませんでしたが、原付免許のみの取得者（ただし運転経験が2年以上）も準指導員になることができるようになりました。

●準指導員審査でも「運転について必要な指導についての知識および技能」が審査されます。

このように、従来の準指導員は、その任務が“指導員の任務の補佐”とだけされていたために、単独で講師となって、安全指導を行なうことは原則としてありませんでした。

ところが、今度の改正により“地方原付安全運転講習会の講師”および“二輪・原付運転者等の指導”が任務として明文化され、それにあたることになります。

そこで、従来の準指導員審査では行なわれることがなかった①初心者の運転を観察し、運転技能について評価する②運転について必要な事項について講義する、といった課題での実技試験や面接試験を準指導員をめざす人は審査の際、受けることになりました。

※合格基準は指導員以上では80%以上となっていますが、準指導員では70%と軽減されています。

●準指導員は技能審査の際、審査使用車両として“原付”も選ぶことができ、指導員等は“技能指導のできる車両”を段階的に高めていくことができるようになりました。

「二輪車安全運転推進会指導員等審査要領」の「3. 審査の実施」の項中に、「技能審査事項等」が新たなかたちで追加されました。

これは、技能審査に関する審査使用車両と各クラスに合格した者が技能指導できる車両を定めようとするもので、ここでは、審査使用車両を、大型、中型、小型自動二輪車と原動機付自転車の4つに細分して規定。指導員等の審査を受ける者は、審査使用車両をその中から自分のレベルに合わせて自由に選べるかわりに、合格後に技能指導ができる車両もそのクラス以下のものであることを定めています。

つまり、指導員等は上クラスの車両に段階的に合格できる形が採用されており、これは“指導員等は常に自己を磨こう”といった立場からの規定となっています。

●ヤマハ奥さまもこの機会にぜひ推進委の“準指”資格を！

改正点はこの他にもありますが、誌面の関係で割愛させていただきます。詳しくはヤマハ安全運転推進本部または地方支部にお問い合わせください。

ところで、今回の改正のポイントは、とくに準指導員にはなりやすくなり、しかも地域社会の安全指導を自主的に行なうことができるようになったこと。多くの人々の活躍を期待し門戸を広げるかたちとなったわけで、この機会に、お店の奥さまもぜひ推進委の指導員等の資格を取得していただきたいものです。

販売促進12章

●吉川雅之



●お店づくり ●顧客づくり ●利益づくり

「この販売順調ですか？」と問われて「ほぼ計画どおりに行っています」「計画までいま一歩です」そんな形で答えられますか？
 物事の成否は、計画や目標があって始めて判断できること。今月は、最も身近かな大問題「計画」についてとり上げました。

●筆者紹介

吉川雅之（昭和14年生）産業能率大学経営管理研究所研究員／産業能率短期大学専任講師（販売促進）著書に「新しい販売促進」（共著・酒井書店）「得意先についての知識」等がある。趣味はバイク。DT125、TY125等数台を所有、ユーザーとして販売店さまのおつきあいもある。

計画を立てて仕事を「追う」

●追う者の強味

追われる、というのはどんな場合でも大変イヤなものです。追われてバタバタ逃げると案外つまらないところであつてころんだりするのです。

「モトクロスのレースでも同じだ」と聞いたことがあります。一番最初に飛び出して、十分な実力があれば、そのまま逃げ切つてしまえばいいでしょう。しかし十分な力がなく、後にびったりつかれたりすると、つい焦りが出てしまうものです。エンジンを回わしすぎてこわしたり、ムリなスピードでコーナーに飛び込んでまわり切れずに飛び出したりということになってしまふようです。

同じスピードで走っていても、2位以下の追いかける人は比較的楽なようです。追われるのではなく、追う立場になつてしまえば、ミスが少なくなるといふだけでなく、精神的にも楽であり、精神衛生上もいふようです。特に相手を追いつめた、というようないふ場合には心なしかエンジンまで調子がよくなつたような気がするでしょう。

仕事でも同じことがいえます。よく「忙しくて、忙しくて仕事に追われてね」などと忙しいことを得意気にする人もいます。しかし、本当に仕事に追われてしまうと、精神的に苦しくなるだけでなく、思わぬミスをおこすことにもなりかねません。でも、本当に忙しい時にはどうすればいいのでしょうか。

まさか、仕事を放り出して閑になるわけにはいきません。したがって忙しいことは、やむを得ないこととして仕事に追われるのではなく、仕事を追う立場にまわることです。同じ忙しさでも仕事に追われる立場から追う立場にまわることによつて気分的にグンと楽になつて来るはずですよ。

では、仕事を追うための秘訣は何でしょうか？ それが今月のテーマ「計画」に他ならないのです。

●計画は絵に描いたモチ！

「計画を立てて仕事をしていますか」と聞くと、案外計画を立てずにやっている人が多くいます。「なぜ計画を立てないのか」といふ質問に対して「どうも忙しくてね。そんなことやっている暇がないんですよ」などと

答える人さえいます。

しかし、これはおかしな話で、忙しいからこそ効率よく仕事を処理するために計画が必要となつて来るので、閑がないから計画を立てないというのはアベコベです。

計画を立てないもうひとつの理由があります。それは計画を作つてもそのとおりにはいかないからだということです。

確かに、お店での販売という仕事は相手あつての仕事です。お客さまから呼ばれれば出向かなければならない。さらに、いくら「売ろう」と計画を立てたところで、お客さんの方で買つてくれなければ計画なんて絵に描いたモチのようなものだ、ということです。

そんな計画に一体何の意味があるのか、ということでしょう。特に、販売活動では他人まかせ、お客さままかせの傾向がよいようですよ。

しかし、販売というものは、本当にそんなふうにお客さままかせの部分はあるとしても、そう多くはないはずですよ。残りの大部分の時間は自分が自由に使える時間なのです。この時間を有効に使うためにも計画が必要だといえるでしょう。



またある人は、計画というのは必ずしも実行できなくてもよいのだ、と言っています。計画とは実行されたら価値があり、実行されなければ価値がない、というようなものではないのだ、というのです。

●仕事はスリー・ストローク

仕事を上手にすすめるには、マネジメントサイクルといわれる次のような手順を踏むとよいといわれています。

計画……何を、いつすべきかをあらかじめ決定しておくこと

実施……計画に基づいて実行に移す

検討……実施の結果を反省し、良いところ、悪いところ

をはっきり

させ、次の

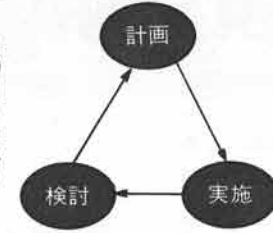
計画に生か

す。つまり、

また計画に

戻るのです。

これを図にしたのが、下の三角形です。



例えば、朝起きて今日は10個の仕事をするとう考えた(計画した)とします。そして、その日一日働いて(実施した)、その日の夜寝る前に反省(検討)します。もし、10個ではなく、8個しか仕事が終わってなければ、翌日は今日の分も含めて12個の仕事をするとうと、翌日の計画を立てたり、あるいは12個の仕事が終わってれば、翌日の仕事の計画を8個にしたり、逆に考えて1日に10個以上仕事はできるとうことで、今度は12個の計画を立てるかも知れません。

これがマネジメントサイクルといわれるものです。このサイクルの中で通常やむを得ず「実施」は一生懸命やりますが、「計画」や「検討」はどうしてもなおざりにされがちなのです。そして、この「検討」が十分にされていない、ということも実は計画がしっかり立てられていないからなのです。

計画の段階で、いつ、何を、どれだけ、するかが決まっていなければ、結果が出たところ

ろで「あっ、そうか」というだけで検討のしようがなくなってしまう。

検討が不十分だということは、次の計画が不十分なものしか出せないということになりますし、さらに計画が達成できたかどうかすらもわかりません。何故、どのくらいできなかったのか、これがかつかりわかれば次の手もより正確なものが打てるようになるのです。

検討ができなければ問題点にも気づきません。問題点を早目に気がつけば、早い時期に問題が大きくなる前に、未然に手を打つことも可能になります。そのためには、基礎となる計画が重要なのです。つまり絵に描いたモチでも、良いモチとはどんな形をしているのかという見本や規準になるからです。

●計画のたて方

計画にもいろいろな種類のものがあります。簡単な「今日一日何をするか?」というようなものであれば、朝食後、仕事を始める前のひと時に今日一日にしなければならぬ仕事の項目を簡条書きに書き出して、順番をつけ、いつ(何時頃)するかを記入していけば良いでしょう。

たったこんな簡単なことでも今日一日の仕事の全体を見通すことができ、気分的にも大変スッキリしますし、やり終ったものを消していけば、やり残して後で慌てることも少なくなります。さらに「これとこれは似たような仕事だからまとめてやってみよう」というような合理化もできてきます。

「今日忙しくて一人ではできそうもないな」ということがあらかじめ判っていれば、他の人に頼むなり、翌日にまわしたりと仕事の配分をすることもできるようになります。とくにお店のご主人ひとりだけでなく、奥さまや従業員の方も一緒に働いている場合には、この割りふりの良し悪しが、お店全体の効率化に著しい影響を与えることとなります。

●計画は大から小へ

より大きな計画、例えば来月とか、来年度とか期間の長い計画になればそれだけ立案もむづかしくなってきます。そして、こうした

計画をたてる場合は、一般に次の5項目を考えておかなければなりません。

1、目標

この計画は何のために作られる計画か、計画を実施することによってどうしようとしているのか、を考える部分です。いわば計画全体の目的(目標)の部分といえるでしょう。

販売店さんの場合は「目標」というと、とかく「台数」の目標の場合が多いようです。しかし、目標はそれだけではありません。従業員さんの能力向上とか、利益額(率)、顧客数の増加やお店のイメージ向上などといったものまでじっくりとさまでます。

現状から考えて「今うちの店には何が必要なのか?」を考え、3〜5項目ぐらいにまとめてそれを自店の目標とします。計画はそれを達成するための手段です。(なお、この目標については、機会を改めて詳しくご紹介したいと思います)

2、予測

何が、どのようになるか、見通しを立てるのがこの予測の部分です。計画が長期になればなるほど、むづかしくなるのもこの予測です。計画が成功するか否かは、この予測の質にかかっているとされています。

3、使える手段

いつ、何をするか、のうちに何に当る部分です。例えば独自のキャンペーンを張るとか展示会を開くとかから、店舗の改装をするなどということまで、多数の「手」があるはずで、これらについて、それを使ったらどのよう効果があるのか、どう使うのがより効果的なのかを知っておくことが必要なのです。

さて、この3項目がわかれば「いつ、何をすべきか」という計画が立てられます。最初は年間、月間などの長期の計画から始め、長期の計画ができたならそれに基づいて今週、今日は何かをするかという、短期の計画を作ります。

このような計画ができていけば、いつ何をすべきかがあらかじめ判かり、仕事に追われる部分は残るにしても、その日暮しては仕事を追うことができるようになるのです。(つづく)

世界選手権ロードレースシリーズ

15万大観衆を前に
ヤマハTZ、出場4クラスを制覇!

オランダGP



15万人の大観衆を前にオランダGP500ccクラスのスタート。⑧ミドルブルグ(TZ500)、①ケニー・ロバーツ(YZR500)、⑦B・シーン、④J・チェコット(いずれもTZ500)



オランダのニューヒーロー・ミドルブルグ

「ケニー4連勝」が期待された500ccクラスは、先のユーロGPでこのクラスがなかったためフランス以来丸一カ月ぶりである。

朝から小雨の降りつづく中、16周、123・48kmの500ccクラスは15時10分にスタート。ケニー・マモラ(RGB)チェコット(TZ500)、ミドルブルグ(TZ500)が早ばやと先頭集団を形成してレースをリード。しかし3周目ミドルブルグがトップに立ち、ケニーは4位へ後退、7周目にはケニーの「YZR500」はビットイン。フロントタイヤのエア抜けてあった。

この間にも、トップを行くオランダ人ミドルブルグとTZ500は、地元観衆の大声援を受けて2位との差をひらく一奮のルツボとしてしまった。

予選でも最高のタイムをマーク、ポールポジションからバーフェイクなレースで優勝したミドルブルグは、オランダのヤマハインポーターIMNの契約ライダー。また、このGPでは250ccクラスにベネ

カラーページにご紹介した、キング、ケニー破竹の快進撃は3連勝でストップ。しかもストッパーとなったのは、市販マシン、TZ500を駆るオランダのニューヒーロー、J・ミドルブルグであった。

第7戦オランダGPは6月28日、アッセンに15万人という大観衆を集めて行なわれた。

モトスチームのC・ランバートが、また350ccはJ・エクロードが、それぞれ「TZ250/350」で優勝。サイドカークラスもTZ750ポアダウンの優勝とあつて、ヤマハTZは出場4クラスを完全制覇、オランダGPの話題を一手にさらってしまった。

つづく第5戦ベルギーGPは、7月6日ゾルダで行なわれたが、注目の500ccクラスは、R・マモラが初優勝。ケニー・ロバーツは3位。

なお、注目の500ccクラスのランキングは、55ポイントのケニーが1位、マモラ(スズキ)が12点差で追いついでいるところ。メーカースelection権得点でもヤマハが、70ポイントを上げてリードしている。

世界選手権モトクロスシリーズ

光安、2度目の世界GP制覇!

125cc級

7月6日のフィンランドGPで全11戦中の9戦を終了した125cc級世界選手権モトクロスGP、注目の光安鉄美は、第8戦チェコGPで2度目のGP制覇を達成し、ランキングでも5位と健闘をつづけている。

第6戦西ドイツGPで念願のGP初優勝をなした光安は、つづく第7戦イタリアGPでも第1ヒート3位と、僚友バルケニヤス負傷欠場の後を受けて大健闘。

そして、第8戦チェコGPでは第1ヒート1位、第2ヒート2位と今季2度目のGP総合優勝を果して、ランキングでも一躍3位に浮上してきていたこのシリーズも8月3日のカナダGPがキャンセルされて11戦。後半3戦を残しての3位浮上は、タイトル獲得への期待を大いに高めたものであった。



市販レーサー「TZ500」を初の世界GP制覇へ導くJ・ミドルブルグ。悪コンディションの中でその高性能ぶりが存分に立証された



念願のGP初優勝をとげた西独GPでの光安とYZM125。この後チェコGPで2勝目を上げた

しかし、第9戦フィンランドGPでは、砂と小石のコースに苦しみ第2ヒート5位。ポ

イント加算はわずか6点に終ってトータル05点、ランキングでも5位と後退、アメリカ、スペインと残る2戦での最後の追込みが期待されているところだ。

一方、第5戦で1位エバーツに1点差の2位と追いつけながら負傷欠場をつづけていたM・バルケニヤスは第8戦から戦列に復帰。第9戦第2ヒートでは3位入賞を果してランキングでも4位と巻き返している。若いヤマハコンビそろっての巻き返しが期待される終盤2戦である。

A・プロマンズ 完全優勝!

500cc級

H・カルキビスト、A・プロマンズのヤマハコンビが健闘を続けている500cc級は6月29日のカナダGPで全12戦中の9戦を消化した。



両完全優勝したオランダGPで、プロマンズとYZM465



中盤体調を崩して苦戦をつづけていたカルキビストと対比的にプロマンズは快調の波に乗り、第7戦オランダGPでは初の両ヒート完全優勝を達成した。オランダ特有の砂地コースに苦しむトップライダー達を尻目に、プロマンズとYZM465が両ヒートぶっち切りの優勝を果したもので、この結果プロマンズはランキング3位に上昇。

また、第8戦アメリカGPは、地元アメリカ勢の独壇場。会場となったカールズバット（カリフォルニア）をホームグラウンドとするM・モーツが市販YZ465改造車で、両ヒート制覇をなしとげて大観衆を喜ばせたものだ。そして、アメリカ、カナダとつづいた終盤の2戦ではカルキビストも完全に復調し、第9戦カナダGPで両ヒート2位入賞を果してプロマンズに2点差のランキング4位をキープしている。

高井幾次郎、TZ500で優勝!

全日本選手権ロードレースシリーズ第8戦SUGGO大会

夏のモータースポーツの祭典として恒例の「サマーフェスティバル・イン・SUGGO」の開幕を告げる「SLサマーフェスティバル・ロードレース大会」が、全日本選手権シリーズの第8戦を兼ねて7月13日、スポーツランドSUGGOで開催された。

プロダクション250ccクラスから国際A級350/500/750ccクラスまで、6クラスにのべ1000台のエントリーを集めて

のぎやかな大会となった。中でも国際A級350/500/750ccクラスには、「TZ500」が7台も出場、10月19日に予定されている「第8回SUGGOビッグロードレース」の前哨戦として注目されたものであったが、春のビッグロードレースの覇者高井幾次郎が、チームメイトの木下恵司に9秒の大差をつけて優勝した。

GP500ccクラス再現の期待! 第8回SUGGOビッグロードレース

国内ロードレースファンの期待を日毎に高めているのが、10月19日に予定されている「第8回SUGGOビッグロードレース」である。

ケニー・ロバーツやバリー・シーンなど世界GP500cc級のトップライダーの大学出場も予定され、国内のトップライダーもすべて500ccクラスでの登場。当然のことながら世界GP500ccクラスの白熱戦の再現と期待されているのだ。

なお、スポーツランドSUGGOでは、抽選で100名の方をこの「第8回SUGGOビッグロードレース」にご招待する。ご希望の方は官製ハガキに住所、氏名、年齢、ご職業等明記のうえ、9月30日までにスポーツランドSUGGO「第8回SUGGOビッグロードレース」係へ。(〒989-14 宮城県柴田郡村田町菅生)



このところ復調著しい東福寺保雄(写真)が確実に両クラス2位、ランキングポイントでも上位との差を一気に縮めている。

まず5日に行なわれた、125ccクラスでは第1ヒート東福寺がスタート・トゥ・フィニッシュで優勝。第2ヒートでも確実に3位入賞を果して25点を加算。このクラスのランキングは依然として4位だが、3位福本との差8点と一気に上位との差を縮めている。

また、1万人近い大観衆を集めて行なわれた6日の250ccクラスでも、東福寺、竹沢正治のヤマハコンビが両ヒートを着実に走り総合2、3位。ランキングでも東福寺は2位、福本に26点差の3位と迫まっている。そして、両クラスのランキング首位は、依然として藤秀信である。

復調東福寺、急ピッチの追い上げ!

全日本選手権モトクロスシリーズ

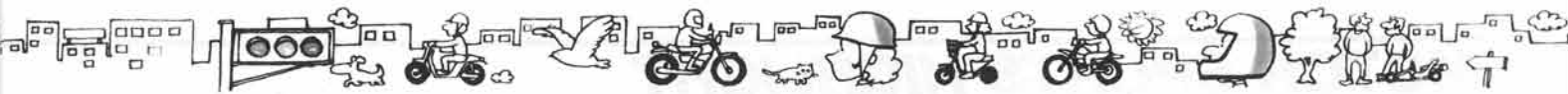
7週間ぶりに再開された全日本選手権モトクロスシリーズは、7月5日、6日の札幌大会、大和ルンツスキー場で6戦目を迎えた。

注目の国際A級125/250ccの2クラスではランキング首位を行く藤秀信がふるわず、



8月のレーシングカレンダー

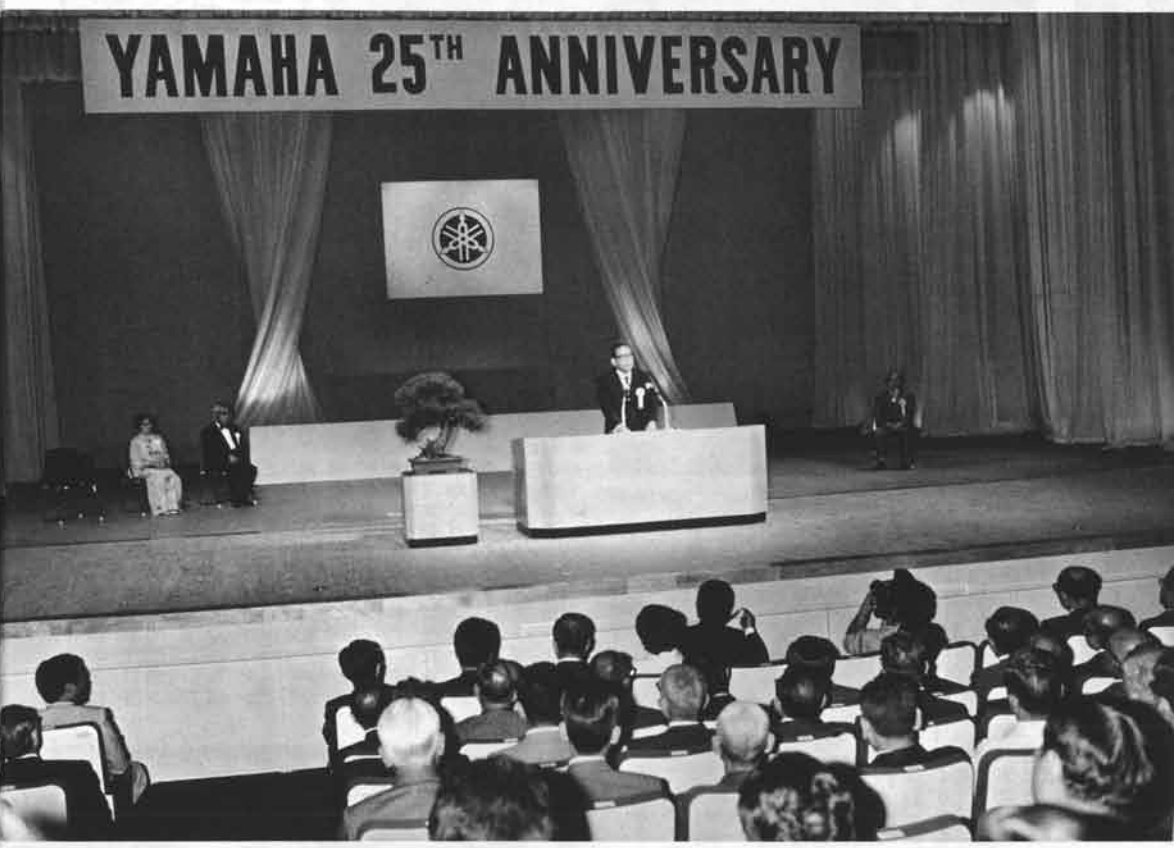
- 8月3日 世界選手権ロードレース⑧ スウェーデンGP
- 500cc級モトクロス⑪ ベルギーGP
- 8月10日 世界選手権ロードレース⑨ イギリスGP
- 全日本ロードレース⑨ 筑波
- 500cc級モトクロス最終戦
- クセンブルグGP
- 8月17日 世界選手権ロードレース⑩ チェコスロバキアGP
- 125cc級モトクロス最終戦
- スペインGP
- 8月24日 世界選手権ロードレース⑪ 西ドイツGP



創造の力で将来的な企業理念の高揚を!

ヤマハ発動機 創立25周年記念式典ひらかる

YAMAHA 25TH ANNIVERSARY



Yamaha Topics

ヤマハニュースは
販売店みなさまの
情報誌です。



お店のみなさまがつくる、みなさまのための「ヤマハニュース」をめざして、積極的な誌上参加をお待ちしております。
ご商売にまつわるさまざまな話題、明るいニュースなど、どんなものでも結構です。お電話で、お手紙でどうぞお気軽にお寄せ下さい。取材要請、ご質問、ご相談もどうぞ。宛先は——
〒438 静岡県磐田市新貝2500 ヤマハ発動機株式会社 広報部広報課
「ヤマハニュース」係
☎05383(2)1111 内線356

2輪車の安全運転普及活動は、いま急ピッチで世界的な広がりをみせています。
海外におけるヤマハ安全運転教室ともいえるLTR(ライン・トゥ・ライド・セフティブログラム)は、ヤマハと現地の代理店、販売店グループの協力で順調な普及をみせていますが、このほど、ヤマハ安全運転推進本部より高橋忠男特別指導員が約2カ月間にわたって中南米コンピアとエジプトに赴きLTRのインストラクター養成と開催指導を行いました。

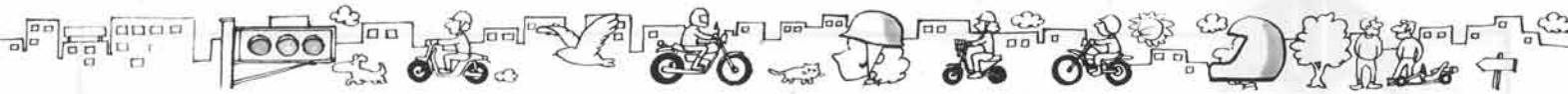
急ピッチで進む 安全指導ノウハウの輸出 LTR開催国15カ国に!



世界17カ国が参加して 国際二輪車安全会議ひらかる ヤマハからも研究発表

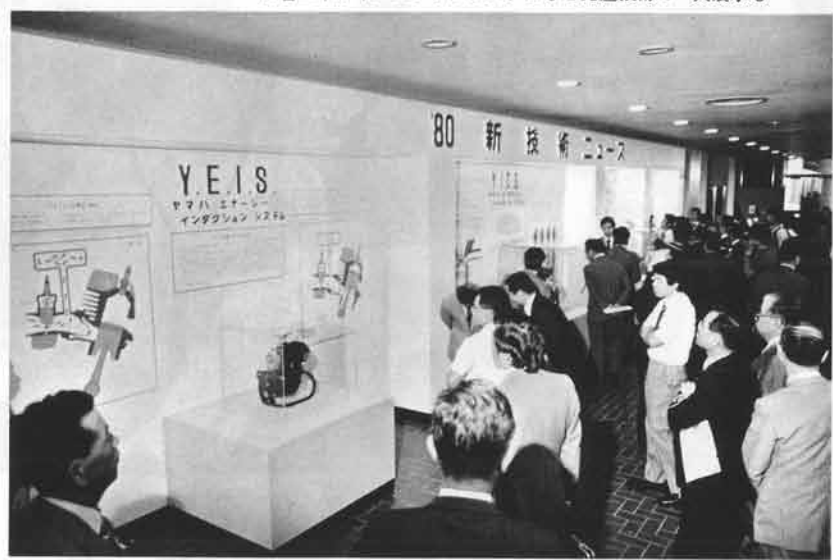
日本の二輪車4メーカーと米のハーレーの5社がスポンサーとなって二輪車の安全運転普及活動を行なっているモーターサイクル・セフティブランデーション(MSF財団)の主催による初の国際二輪車安全会議が、5月18日から23日までアメリカのワシントンDCで行なわれました。
世界17カ国の代表66名と地元アメリカの二輪愛好家や学識経験者、政府関係者など約500名が参加した盛大な会議です。この会議にヤマハ安全運転推進本部からは平井本部長と、丹課長が出席。また研究部長谷川主任による「二輪車の操安性解析——高速走行時における安全性の解析」と題する研究発表も行なわれ注目を集めたものです。





▶根本常務(右端)、杉山取締役(右から3人目)の説明で陸に、水に充実したヤマハの商品構成や先進の技術に見入る川上会長(右から2人目)

↓「YEIS」「YICS」「キャリブマチック」そして「YPSV」ヤマハの省エネルギーエンジンシステムなど先進技術の一大展示も



↑ヤマハ企業理念の確立に協力と励ましを送りつづけられた多くの方がたに小池社長から表彰状が贈られた

▶川上会長の後を受けてあいさつする小池社長は「ヤマハ企業理念の実現にさらに力づよい団結を！」と呼びかけた

25周年記念式典が創立記念日の7月1日地元静岡岡部市警田市民会館において盛大に開かれました。

6月の「躍進ヤマハ選抜フレンド店大会」や各地の「ニューモデル内覧会」など販売店みなさまとの記念行事の後を受けて開かれたこの式典は、山内克己警田市長をはじめとする多数のお客さまとヤマハおよびヤマハグループ関係者の列席のもとに行なわれたものです。

現・川上源一会長を社長として100人足らずの社員が一致団結してスタートしたヤマハは、「品質絶対」を合言葉に高品質・高性能の商品づくりを追求して25年。いまでは陸に、海に商品の幅を広げ世界的企業としての発展を遂げましたが、そこには価値ある商品を通じて世界の人びとの暮らしを豊かにするというヤマハ理念の実現に対する、多くの方がたの絶大な協力とご支援があったからです。

この式典の席上、川上源一会長は「25周年ということばは、われわれの過去の実績に成りたつ現在の姿が、将来に向けてどのような接点を持つものか、考えるに非常に意義深い」ことを強調。

また小池久雄社長は、創立以来ヤマハと苦楽をともにしてきた関係者のみなさまに厚くお礼をのべるとともに、「この25年間につちかあった創造のパワーで、将来的にヤマハの企業理念をさらに高めていく」と決意のほどを語りました。

ヤマハ発動機株式会社・創立25周年記念式典が創立記念日の7月1日地元静岡岡部市警田市民会館において盛大に開かれました。

業界通信

「常識」に挑戦、男性乗せるファミリーバイク「タウニー」

ヤマハ発動機が3月に発売した男性向けファミリーバイク「ヤマハタウニー」が快調に走っている。「月間販売目標は3千5百台」だったのが6月までの4カ月間6千台が売れている。この好調さの背景には、「ファミリーバイクは女性向け」との、従来の業界の常識を破る果敢な商品開発とマーケティングの苦労があった。(中略)

販売促進面でのポイントは、「キャンペーン用に都会的で男っぽい個性を持つタレントを高く」と、「自動車免許取得率の高い20才代後半から30才代の男性を対象に気軽に乗る機会を数多く作ること」の2点。

キャンペーンではキャラクターに渡辺貞夫を起用。一方、販売店毎に自動車免許証の提示で試乗させる「レンタルタウニー」のシステムを取り、省エネを訴えながらキメ細かな普及作戦を進めた。

5月末までの購入者調査によると92%が男性で、このうち20才代と30才代前半が55%に達している。タウニーはファミリーバイク市場をさらに大きく広げつつあるといえよう。(日経流通新聞 7月3日付)

買い控えに「降参」だぶつきはじめたガソリンは150円割れ

「値下げ断行、現金歓迎、148円」先月末から今月に入り、町のガソリンスタンドの店頭にリットル150円を割る看板が登場しはじめた。

昨年からの連続8回の石油製品の値

警察官も含めて、4日間で150名が参加したコロンビア。また、LTRの長期開催に国家警察機動隊員がインストラクター養成を受けたエジプト……と、両国の熱意はめざましいものがあります。なお、これにてLTR開催国は世界15カ国にも増えています。



高校生、現場からの報告 黒板の字よりバイク……

「視力、測って下さい。休み時間にB君がやってきた。10分の休憩時間は保健室のラッシュだから、放課後来なさい」と言う。「両眼で0.7が見えるかどうかだけでよい」と言う。

「わかった、バイクの免許でしょ」と聞くと、あっさり「うん、16才になったから」と答える。測定の結果は0.5で眼鏡が必要と思われた。

ところで教室では黒板の字が見えるの、ときどき、見えないうちから困らない。だけど、今度は見えないうちから困らない。だけど、今度は見えないうちから困らない。……B君は真剣な表情である。

(読売新聞 6月30日付)



菅生
スポーツランド
SUGO

蔵王の裾野に広がるスポーツランド SUGO。その一角に建設が進められていた SUGO の会員制テニスコートが、いよいよ 8 月 1 日よりオープンします。



8/1 SUGO テニスクラブ いよいよオープン! ただいま会員募集中!!

オール会員制で快適テニスが――

緑が萌える菅生の森に切り拓かれた SUGO テニスクラブ。大自然に囲まれたこの一大テニス施設の特徴は、なんといってもオール会員制が採用されていることです。したがって、ご利用もご予約制で確実かつ安心。ご家族やお仲間、お客さまと快適にテニスが楽しめます。

コートは全部で21面とビッグ――

森の傾斜をうまく利用した SUGO のテニスコート施設。コートは、ハードコート14面、クレーコート4面、インドア（ハード）コート3面の計21面とビッグ。また、アフターテニスが楽

しめるようなシャワールームからドレスアップルームやティーラウンジまでが完備のクラブハウスも用意されています。

もちろんテニススクールや パック・ツアーも実施――

いまや世をあげてのテニススクール・ブームですが、SUGO テニスクラブにも、レベルとスケジュールに合わせてご利用いただける5つのテニススクールが用意されています。また、お友達やお仲間に参加するのにもってこいなテニスパック・ツアーも用意。このほか楽しいイベントが続々企画されています。

SUGO テニスクラブ会員募集要項

会員区分	入会金	保証金	年会費	利用方法
個人正会員	10万円	30万円	2万円	記名本人 全日利用
個人家族会員	5万円	10万円	2万円	正会員配偶者又は 22才未満子女、全日利用
個人平日会員	5万円	10万円	1万5千円	記名本人 平日利用
法人会員	50万円	150万円	8万円	4人無記名 全日利用

●お申込み・お問合せは下記へどうぞ――
スポーツランド SUGO
〒989-14 宮城県柴田郡村田町菅生
☎022483-3111



建築風景の写真は、6月19日現在の撮影です

バイクシーズンもまさかり、お客さまの走行距離もグングンと伸びる8月です。適切なアドバイスとともに、お客さまの楽しみ方にあわせた用品類の拡販をおすすめください。

XJ400

オプション・フェアリング

●標準小売価格
26,000円

4サイクル・DOHC・4気筒のニューパワーが登場以来圧倒的な評価を集めるスーパースポーツ「XJ400」。この「XJ400」のスポーツ性をさらに高めるフェアリングをご用意しました。スリムでベストフィットのライディングポジションを少しも損なうことなく、かつエアロダイナミクスを追求したこのフェアリングは、「XJ400」の俊敏な走りを一段ときわだたせるものです。カラーリングは、ボディカラーと同様ブリリアントレッド、クリスタルシルバー、ニューヤマハブラックの3カラー。ボディカラーにあわせておすすめください。



8月中旬発売

ヤマハオリジナル・ビッグバック

●標準小売価格 4,800円

この夏ヤングの間で大人気のディバックを、特にライダー用にアレンジしたオリジナル・ビッグバックです。小物だけの時にはウェストバックとして、また荷物が多くなればディバックとして、ご覧のとおり手軽に使い分けられるのが特徴。反射テープ付きで夜間の安全性にも配慮しました。ブルー、レッドの2色があります。



私の愛情オイル

オートループスーパーオイル1ℓ缶



●標準小売価格 890円

新発売以来大好評の便利なオートループスーパーオイルの1ℓ缶。キャップ式ですので残量の保存もきわめて簡単。また給油ノズルがついて清潔にやさしくお使いいただけます。写真のようなディスプレイツールもご用意しました。お店の用品コーナーに、ショーケースの上などに、積極的にご活用ください。



男のリトルバイク

POCKE
ポッケ



標準現金価格 ¥114,000

こちら、すでにお馴染みのタウニー。渡辺さんのように、優しく気さくな人気者。そして運転も易しい。いまや、渡辺さんの格の一部分となりつつあるこの小さなバイクの素晴らしいフィーリングを、あなたも味わってみませんか。



- 全長 1,280mm ● 全高 920mm
- 重量 52kg ● サイクル 49cc/リットル
- 4段変速 ● 最高出力 3.0ps/5,500r.p.m. ● 燃費 75km/l (30km/h定地走行テスト値)

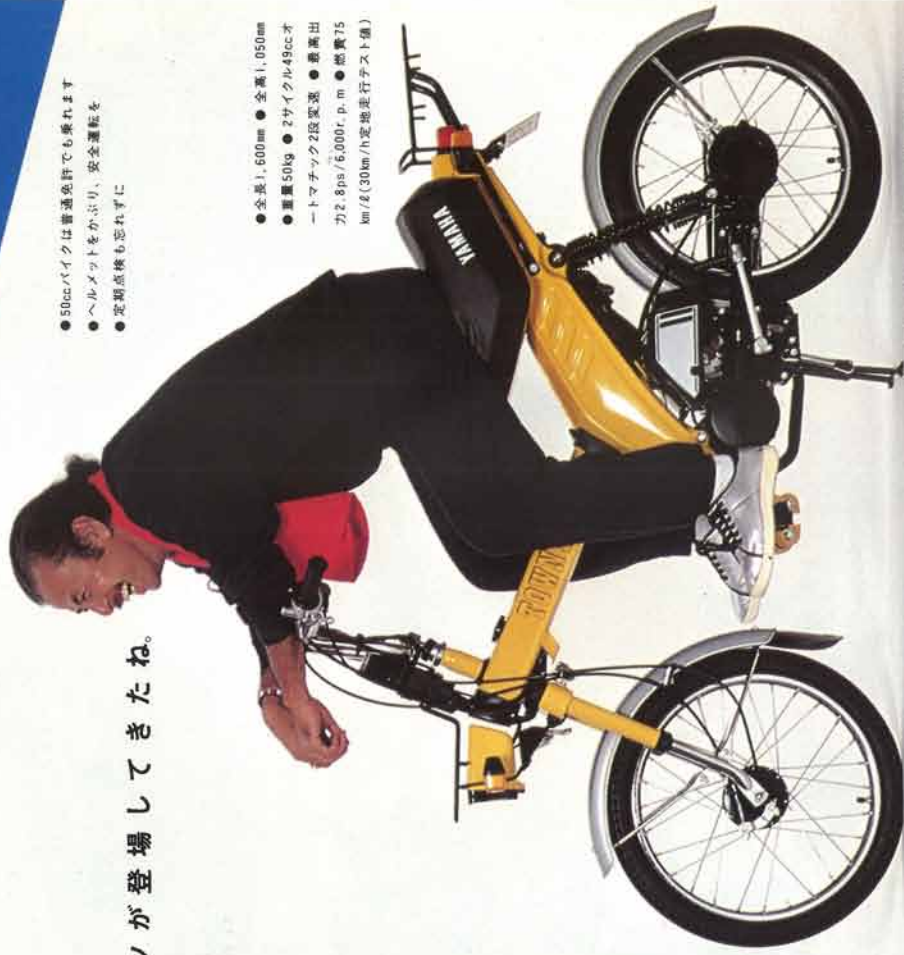
オツ、
なんだけ面白いやつが登場してきたね。

またまた愉快なバイクが登場しました。その名はポッケ。あくまでモノにこだわった男たちに乗っていただきたい小さなホンモノです。もはやバイクは、単なる「乗りもの」を超え、男の大切な「持ちもの」になったのです。

男のソフトバイク

TOWNY
タウンニー

標準現金価格 ¥89,800



- 50ccバイクは普通免許でも乗れます
- ヘルメットをかぶり、安全運転を
- 定期点検も忘れずに

- 全長 1,600mm ● 全高 1,050mm
- 重量 50kg ● サイクル 49cc/リットル
- 2段変速 ● 最高出力 2.8ps/6,000r.p.m. ● 燃費 75km/l (30km/h定地走行テスト値)

YAMAHA

ヤマハ発動機株式会社
〒438 静岡県磐田市新貝2500
TEL. 05383(2)1111

広告活動ご紹介

男のリトルバイク・POCKE vs 男のソフトバイク・タウンニー——ポップス感覚あふれるこの広告は、8月第4週発売の一般誌、男性週刊誌に掲載するものです。おなじみナベサダ+タウンニーに対する新しい個性はニューロックの成長株・鮎川誠+ポッケ。好対象のふたつの個性が、より強力に男性50cc市場を拡大します。